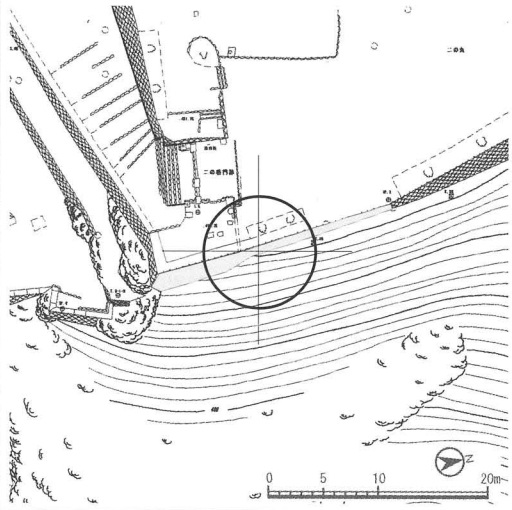
石垣番号	km_095	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	km_096へ			
	左	出角			
石垣延長	天端 23.40		下端 3.14		
石垣高さ	左 8.08		右 4.89		
	最高 8.08		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.40		右 0.30		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面・岩(左端)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

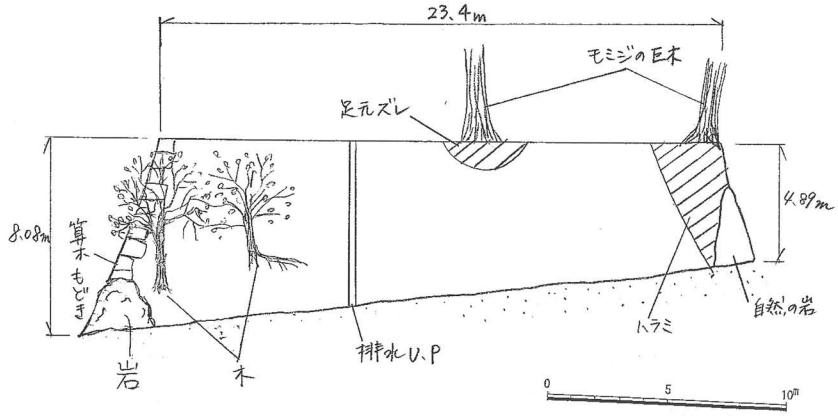


特記事項	石の右端全体がズレ、落石の危険性ある石数個。樹木の根付近ハラミ、ズレ。下急斜面につき崩落時は大規模崩壊の恐れ。算木積（低）。露岩上に築造。

破損の要因と破損状況

- 石垣天端の樹木の影響などにより、ズレがみられる。
- 岩盤と築石面の不整合などにより、ハラミがみられる。

略図

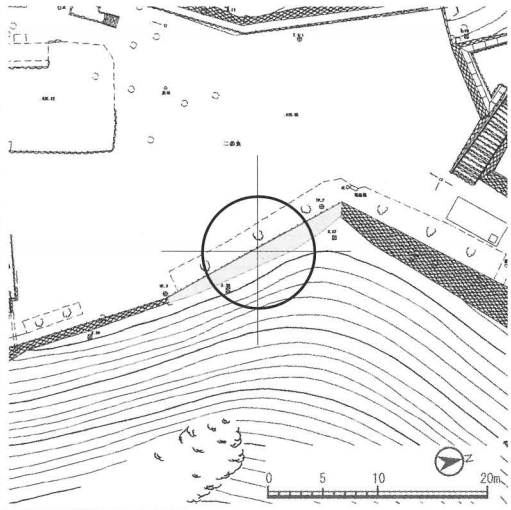


左変曲点

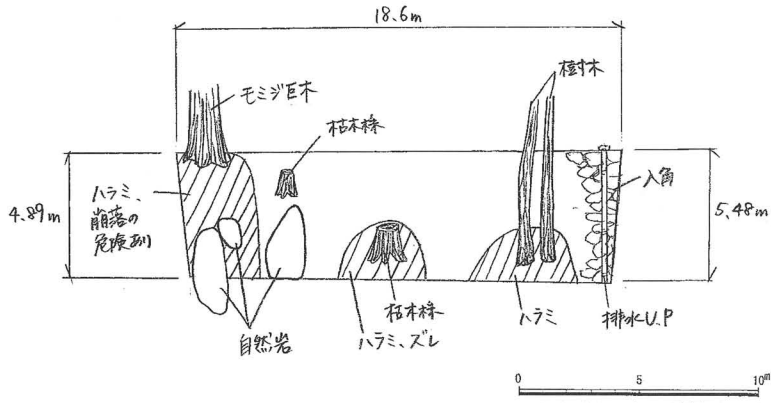
右変曲点

石垣番号	km_096	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角・折れ			
	左	km95へ			
石垣延長	天端 18.60		下端 17.70		
石垣高さ	左 4.89		右 5.48		
	最高 5.48		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.30		右 0.35		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・岩・斜面・一部岩(左端)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	km95との間ズレ、崩壊の危険性。下急斜面につき崩落時は大規模崩壊の恐れ。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

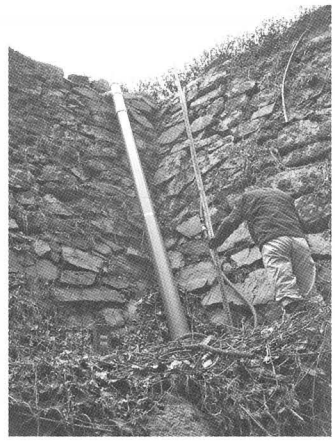


破損の要因と破損状況	略図
・石垣天端の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ハラミがみられる。	



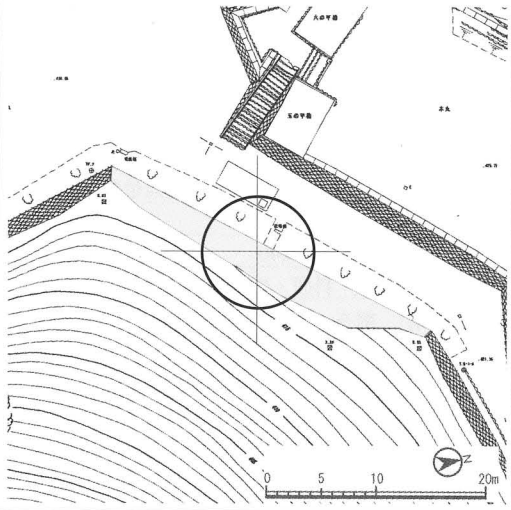
左変曲点

右変曲点

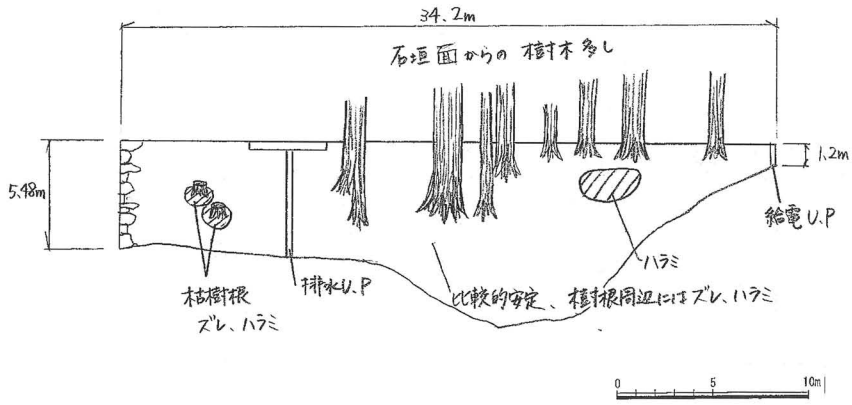


石垣番号	km_097	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 34.20		下端 33.80		
石垣高さ	左 5.48		右 1.20		
	最高 9.66		最高点位置 右 14.1		
石垣勾配	左 0.35		右 0.25		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	石垣面に多くの木（モミジ）が生える（約１５本）がそれなりに現状は安定。将来的に樹木の多さから崩落の危険性あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ハラミがみられる。	

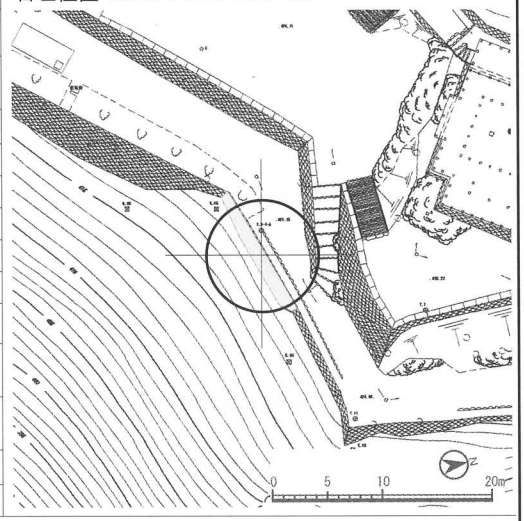


左変曲点

右変曲点

石垣番号	km_098	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け・km_099へ			
	左	入角			
石垣延長	天端 13.00		下端 13.00		
石垣高さ	左 1.20		右 0.60		
	最高 1.95		最高点位置 左 2.20		
石垣勾配	左 0.25		右 0.20		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面・岩かもしれない。土で見えない。				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積野面に近い				
石垣現状	部分崩壊・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹木の根付近ハラミ出し。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

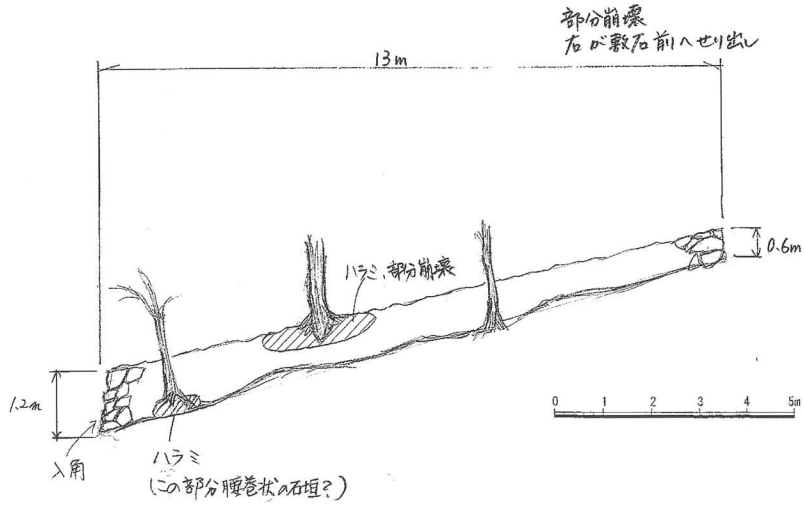


破損の要因と破損状況

・石垣天端の樹木の影響などにより、ハラミ、部分崩壊がみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。

略図

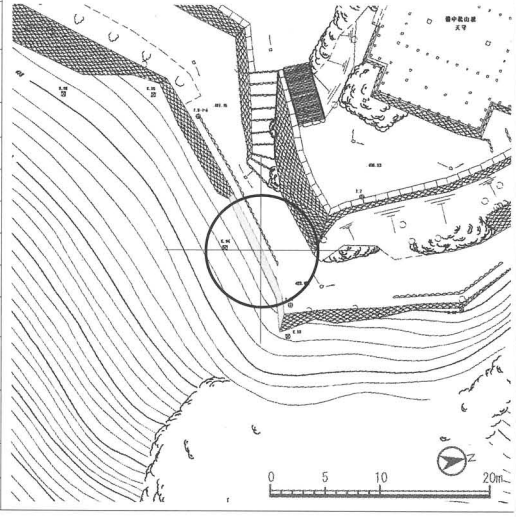


左変曲点

右変曲点

石垣番号	km_099	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・km_098			
石垣延長	天端 12.25		下端 13.95		
石垣高さ	左 0.60		右 4.38		
	最高 4.38		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.55		
	最高地点 0.55				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	崩落の危険なし。樹木の根によってズレ出し。算木積（高）。ソリあり。				

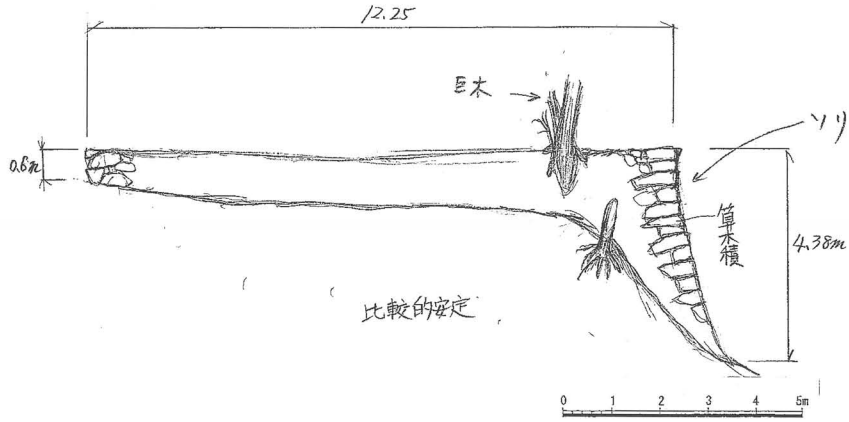
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

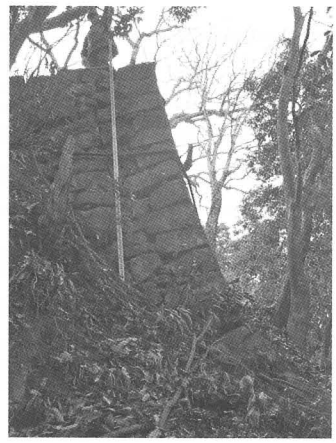
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

略図



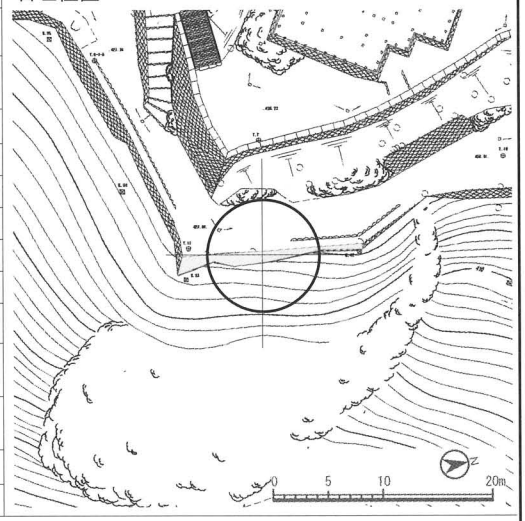
左変曲点

右変曲点

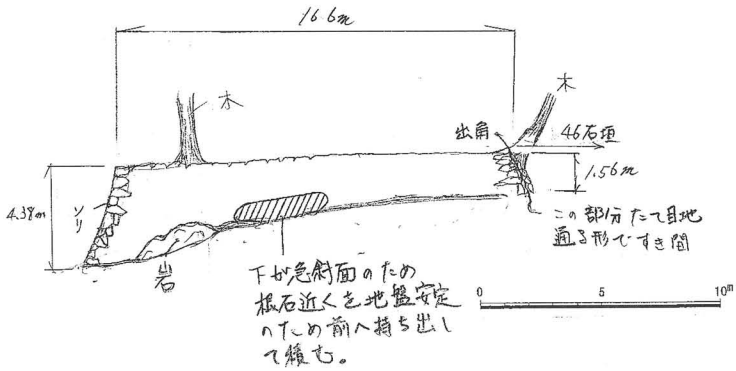


石垣番号	km_100	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 16.60		下端 18.30		
石垣高さ	左 4.38		右 1.56		
	最高 4.38		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.55		右 0.15		
	最高地点 0.55				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。天端に樹木１本あり（今のところ影響軽微）。台石を敷く。ソリあり。				

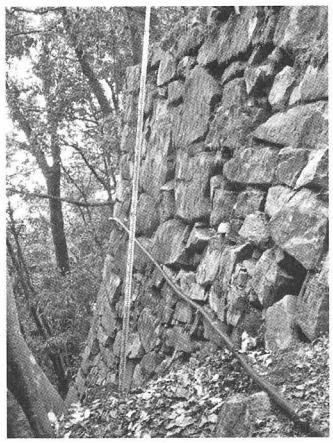
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



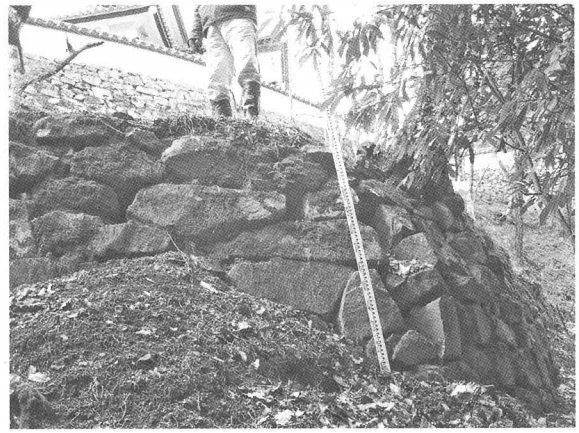
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



左変曲点

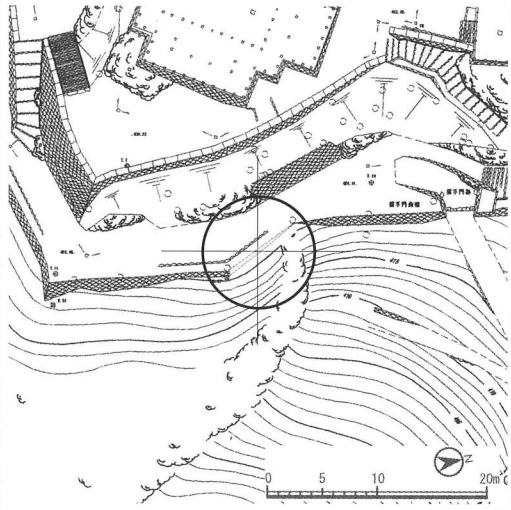


右変曲点

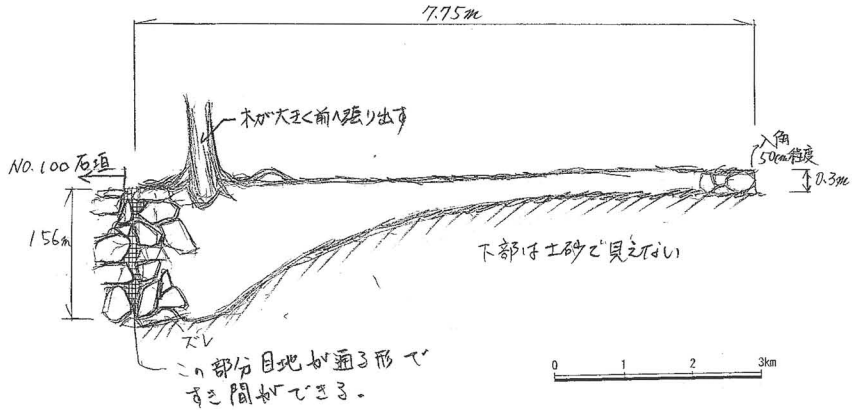


石垣番号	km_101	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角・目が通る			
石垣延長	天端 7.75		下端 7.75		
石垣高さ	左 1.56		右 0.30		
	最高 1.56		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面・土で埋まり不明				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	隅角付近の樹木将来的に崩落の危険あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミがみられる。	

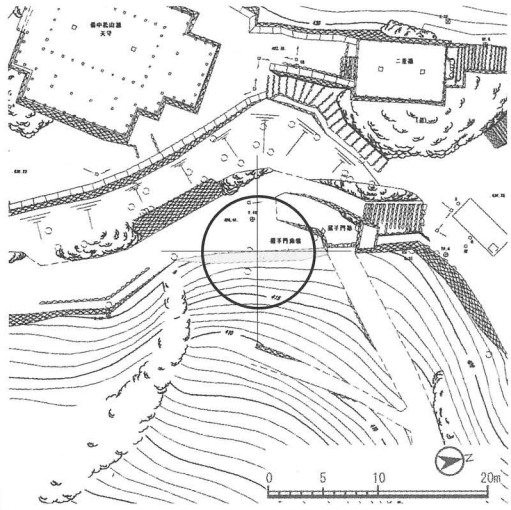


左変曲点

右変曲点

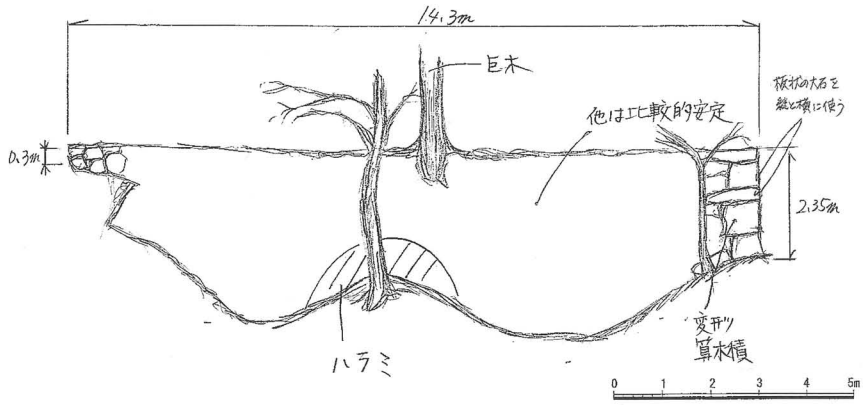
石垣番号	km_102	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 14.20		下端 14.35		
石垣高さ	左 0.30		右 2.35		
	最高 3.99		最高点位置 左 3.50		
石垣勾配	左 0.00		右 0.25		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



特記事項	崩落の危険なし。樹木があるが、１本のみ、天端のため大きな影響は少ないと思われる。角部に板石状の大石を長短交互に使う。算木積（低）

破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	

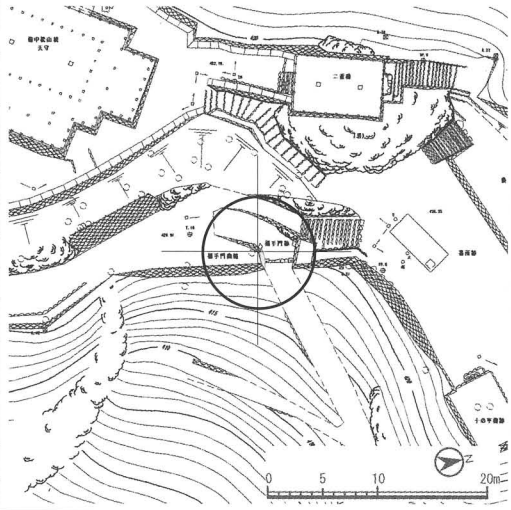


左変曲点

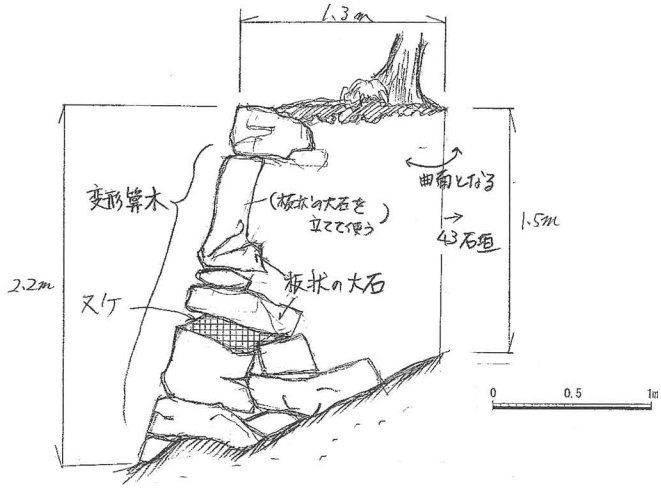
右変曲点

石垣番号	km_103	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	出角・出丸角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.30		下端 1.90		
石垣高さ	左 2.20		右 1.50		
	最高 2.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.05		右 0.20		
	最高地点 0.05				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ(一石)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。隅角部に板石状の大石を長短交互に使う。算木積(低)。曲面を持つ				

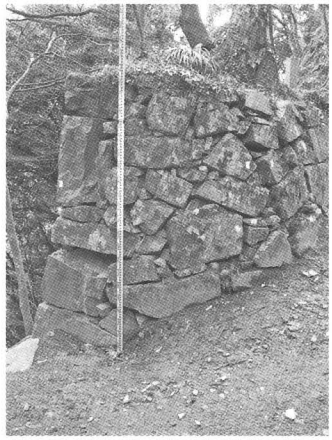
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	

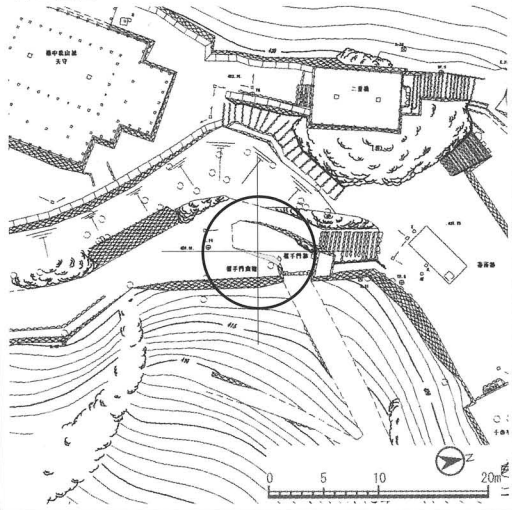


全景写真1

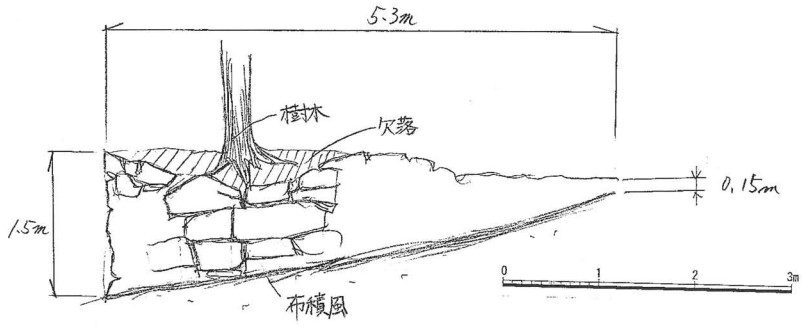


石垣番号	km_104	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	すり付け・消滅			
	左	出角・出丸角			
石垣延長	天端 5.30		下端 5.35		
石垣高さ	左 1.50		右 0.15		
	最高 1.50		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・欠落(天端)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



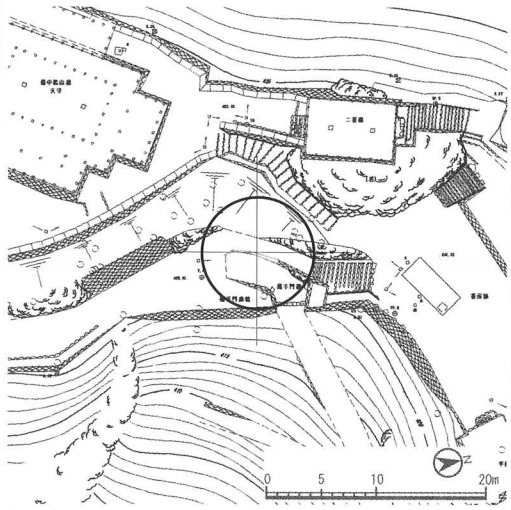
破損の要因と破損状況	略図
・石垣天端の樹木の影響などにより、カケがみられる。	



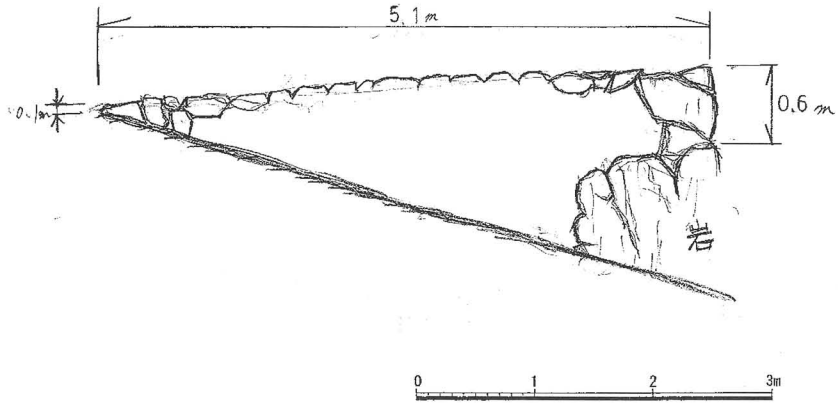
全景写真1

石垣番号	km_105	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	岩に当たる			
	左	消滅			
石垣延長	天端 5.10		下端 5.10		
石垣高さ	左 0.10		右 0.60		
	最高 1.35		最高点位置 右 0.30		
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



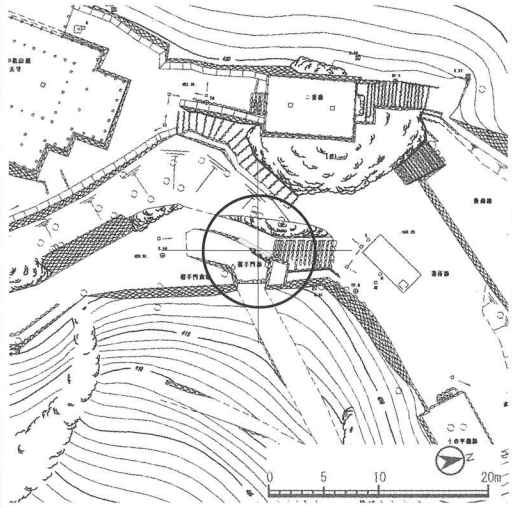
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



全景写真1

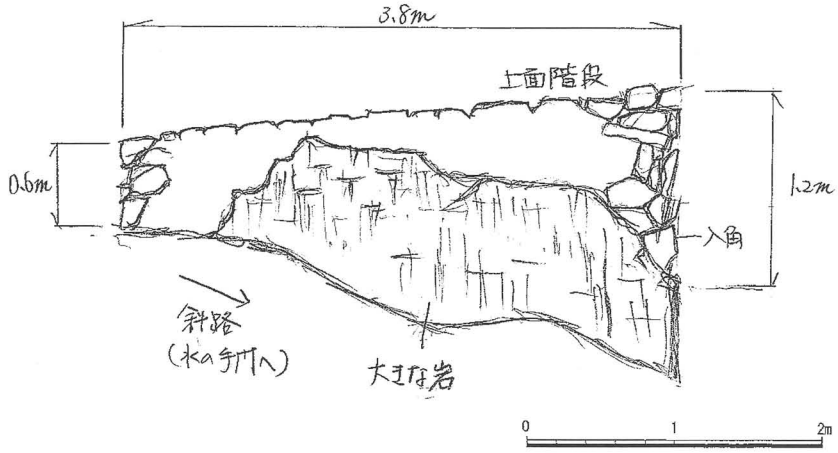
石垣番号	km_106	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	上部km_107へ			
	左	岩に当たる下部入角でkm_109に当たる			
石垣延長	天端 3.80		下端 3.80		
石垣高さ	左 0.60		右 1.20		
	最高 1.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.05		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

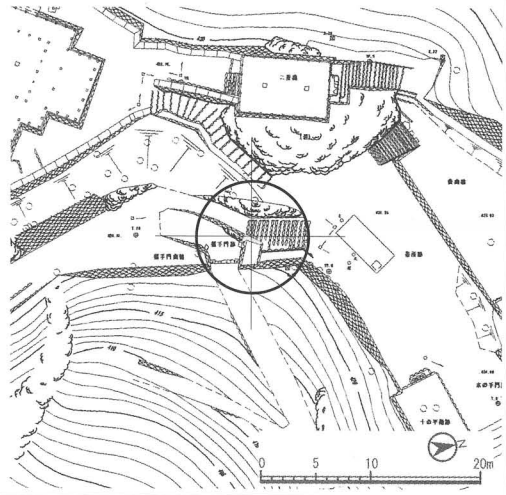
略図



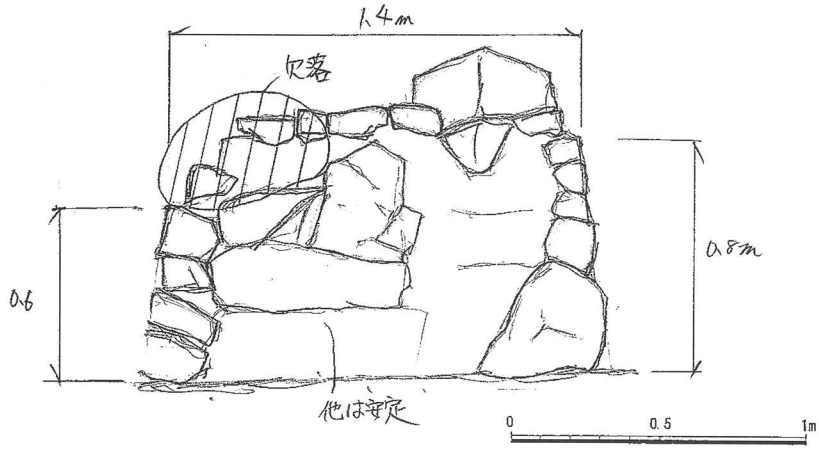
全景写真1

石垣番号	km_107	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	入角			
	左	km_106へ			
石垣延長	天端 1.40		下端 1.55		
石垣高さ	左 0.60		右 0.80		
	最高 0.80		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.30		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	欠落(天端)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

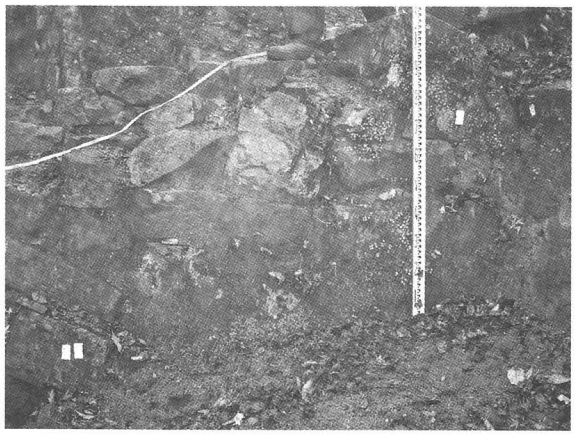
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ワレがみられる。	

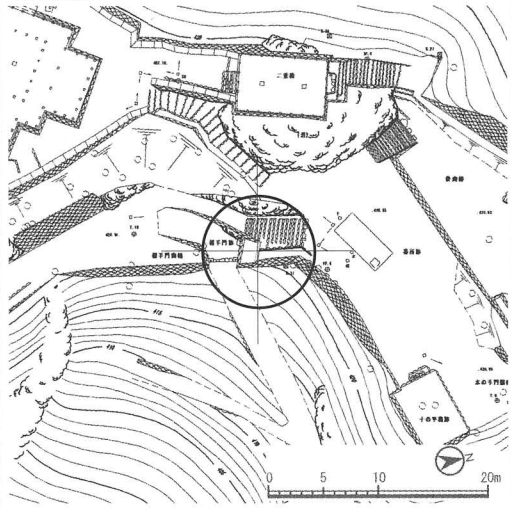


全景写真1

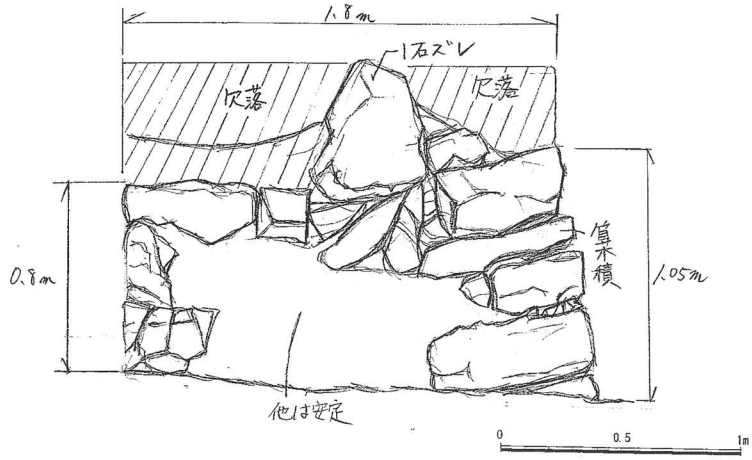


石垣番号	km_108	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.80		下端 1.95		
石垣高さ	左 0.80		右 1.05		
	最高 1.05		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・欠落(天端)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



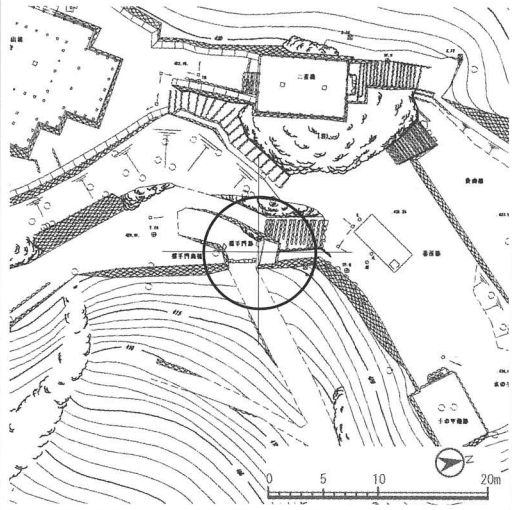
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	



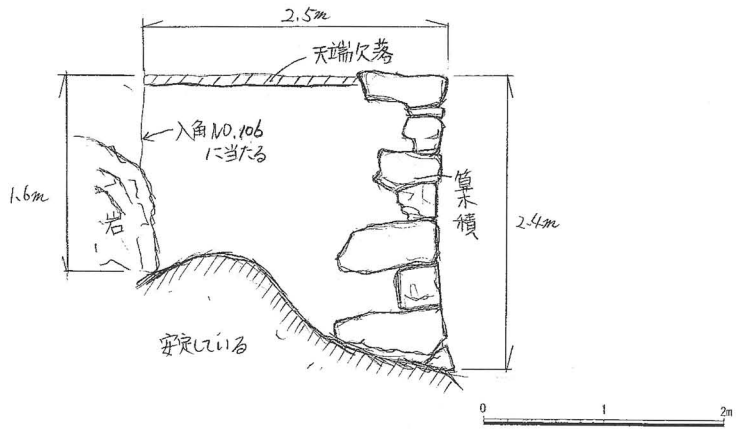
全景写真1

石垣番号	km_109	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.50		下端 2.55		
石垣高さ	左 1.60		右 2.40		
	最高 2.40		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



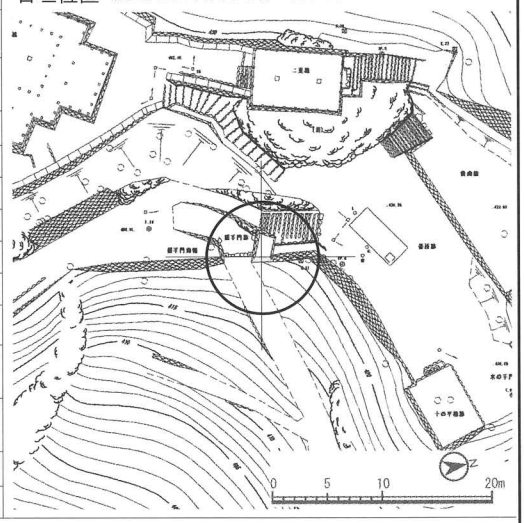
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



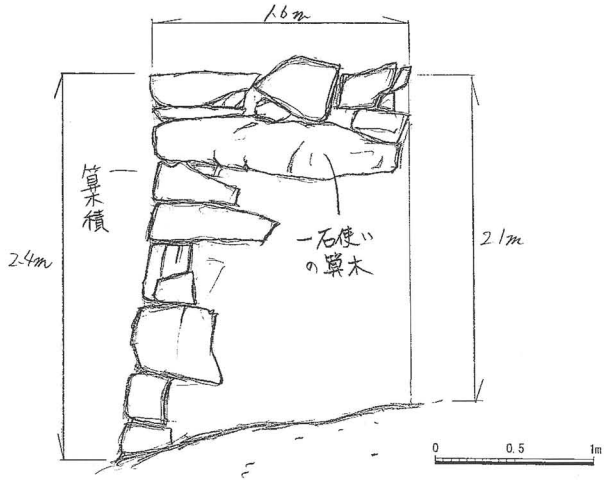
全景写真1

石垣番号	km_110	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	km_111へ			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.60		下端 1.80		
石垣高さ	左 2.40		右 2.10		
	最高 2.40		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。一石使いの算木積（高）あり。				

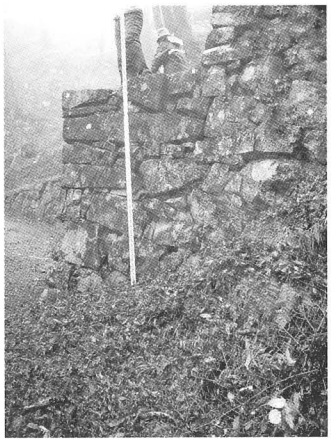
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

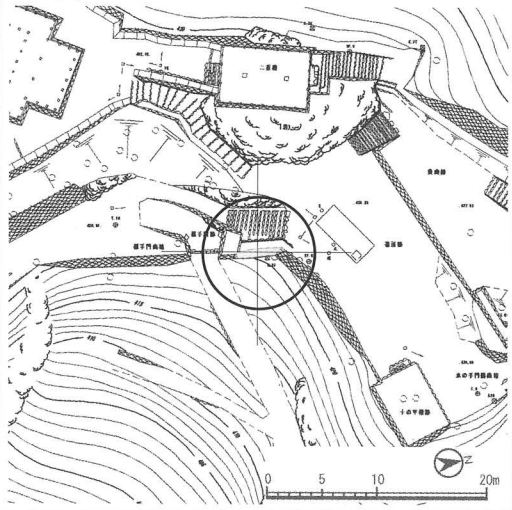


全景写真1

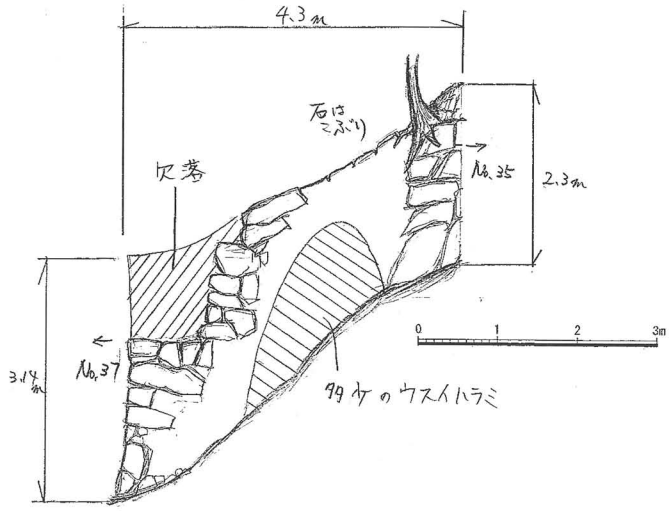


石垣番号	km_111	地区名	小松山城跡	曲輪名	二の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	km_110へ			
石垣延長	天端 4.30		下端 4.30		
石垣高さ	左 3.14		右 2.30		
	最高 3.30		最高点位置 左 0.80		
石垣勾配	左 0.20		右 0.40		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・天端石の欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

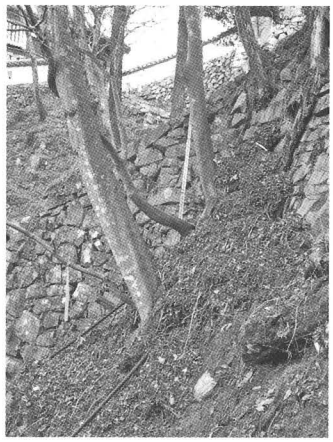
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミ、カケがみられる。	



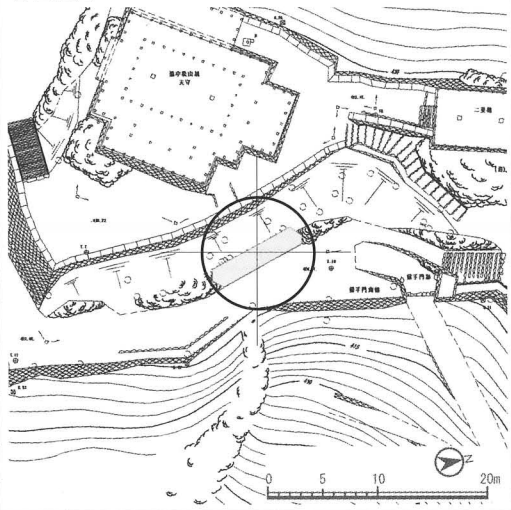
全景写真1



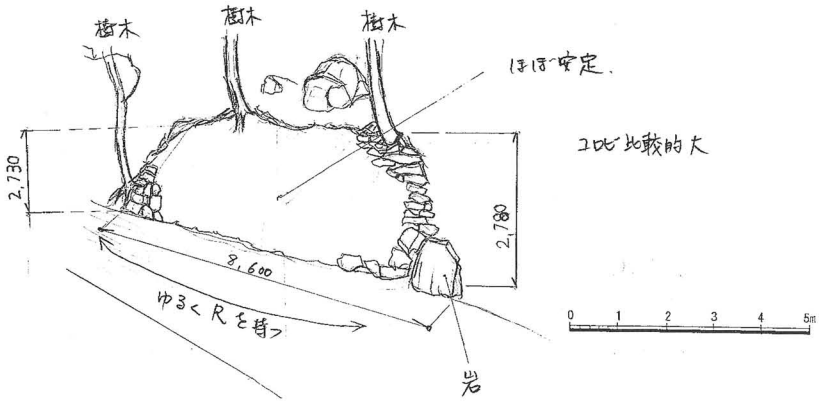
全景写真2

石垣番号	km_112	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	岩に当たる			
	左	岩に当たる			
石垣延長	天端 8.30		下端 8.60		
石垣高さ	左 2.73		右 2.78		
	最高 3.23		最高点位置 左 2.40		
石垣勾配	左 0.50		右 0.45		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	崩落の危険なし。しかし将来的に樹木の枯れによって崩落の危険あり。緩い曲面を持つ。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

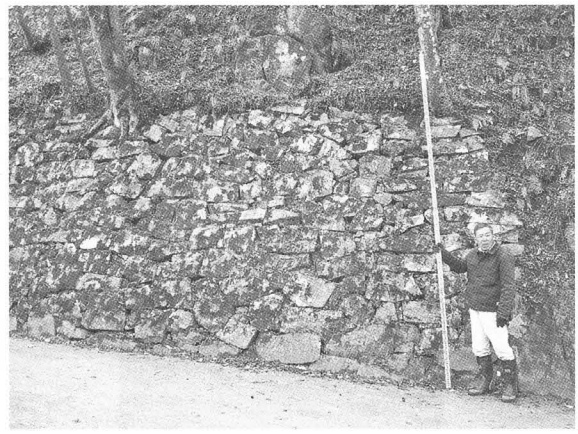


破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	



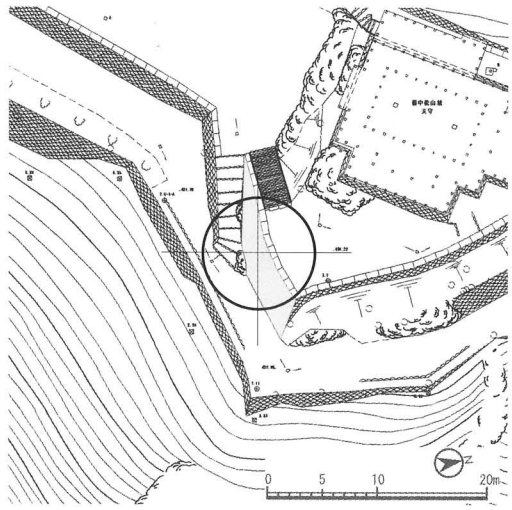
左変曲点

右変曲点

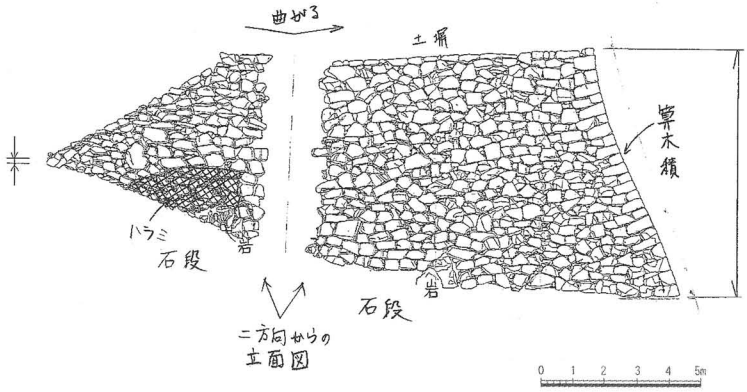


石垣番号	km_113	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 14.90		下端 19.70		
石垣高さ	左 0.15		右 7.65		
	最高 7.65		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.35		
	最高地点 0.35				
地盤状況	岩・土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	曲面が特徴的。ソリあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

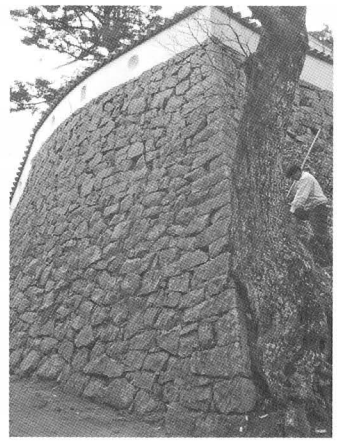


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



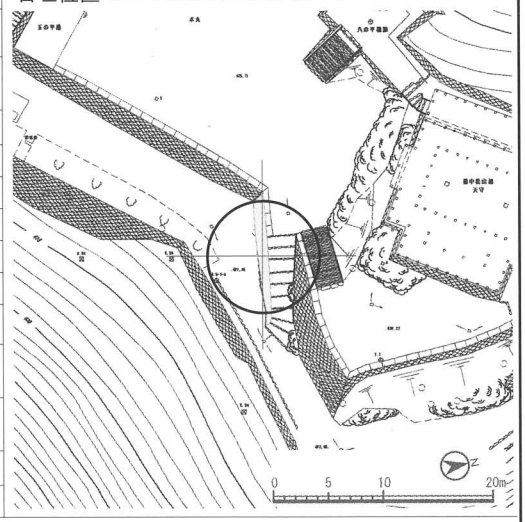
左変曲点

右変曲点

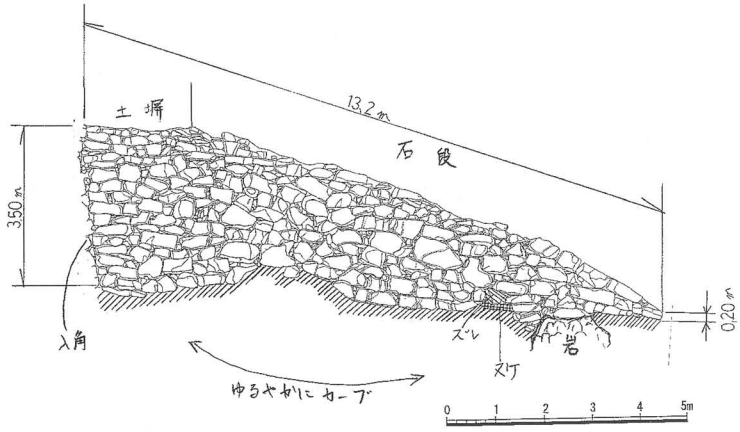


石垣番号	km_114	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 13.20		下端 12.20		
石垣高さ	左 3.50		右 0.60		
	最高 3.50		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ・ヌケ(1石)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。				

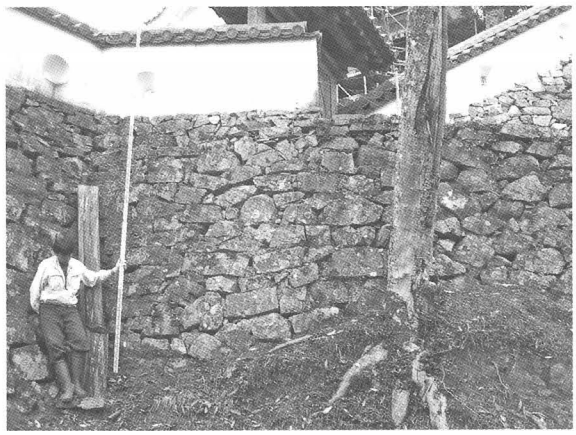
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



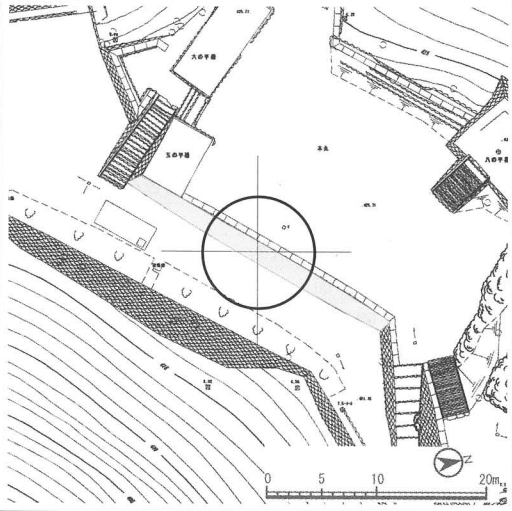
左変曲点



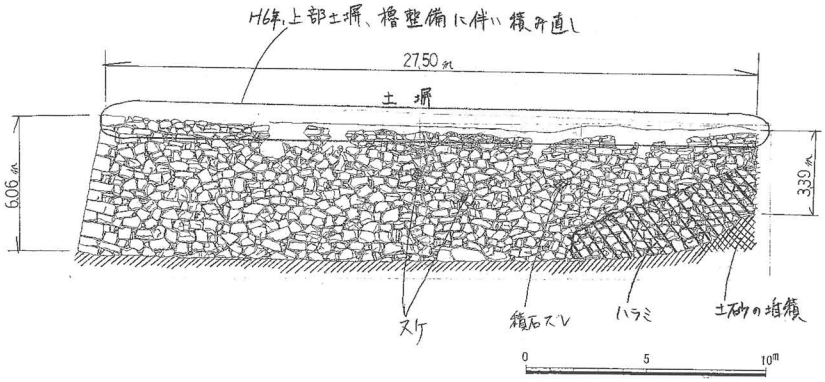
右変曲点

石垣番号	km_115	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 27.50		下端 28.50		
石垣高さ	左 6.06		右 3.39		
	最高 6.06		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.27		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石・野面石				
石積工法	野面積・乱積・打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

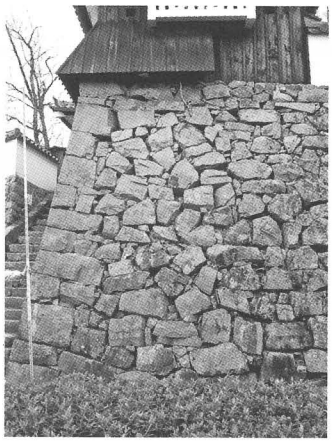
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



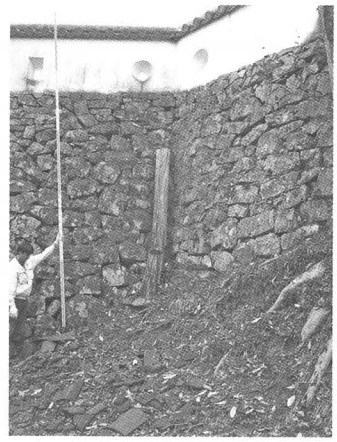
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、ハラミがみられる。	



左変曲点

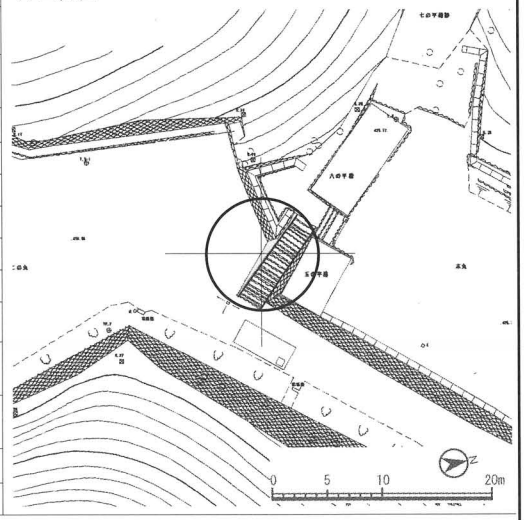


右変曲点

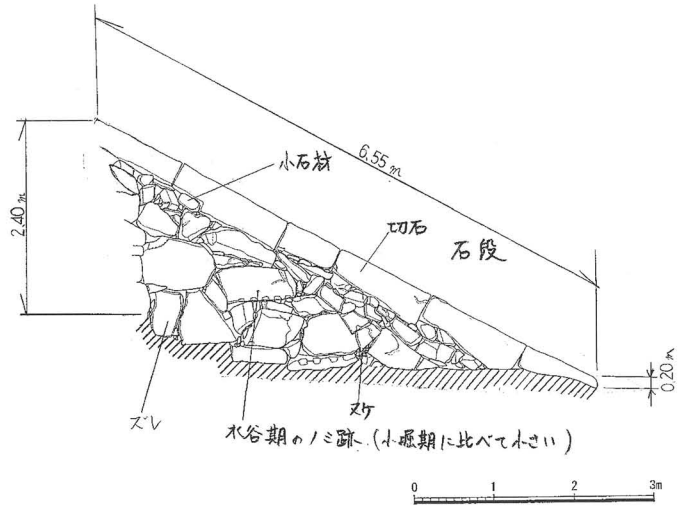


石垣番号	km_116	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 6.55		下端 5.65		
石垣高さ	左 2.40		右 0.20		
	最高 2.40		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	野面積・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。間詰石のヌケあり。				

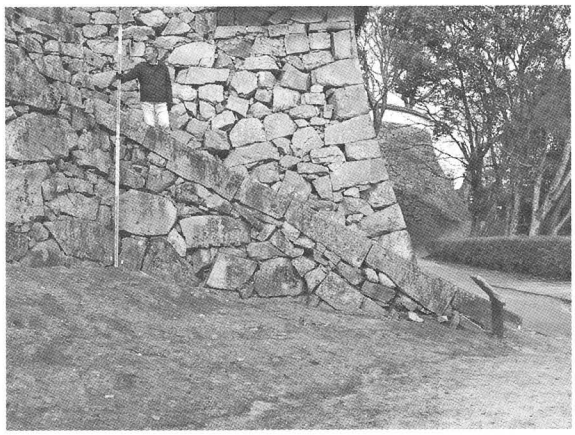
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	

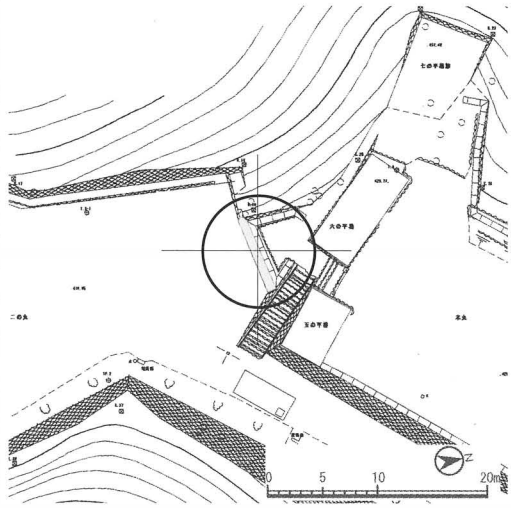


全景写真1



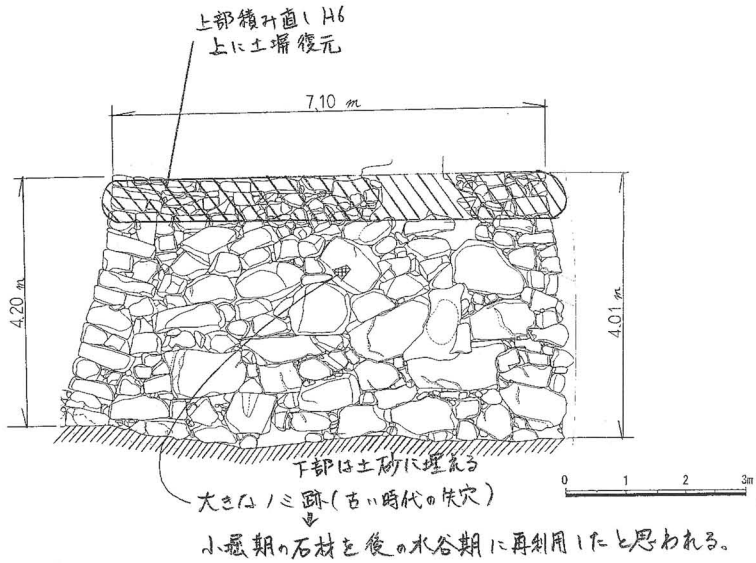
石垣番号	km_117	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.10		下端 8.30		
石垣高さ	左 4.20		右 4.01		
	最高 4.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	平成6年修理。大石を用いる。古材（幅が広い古い矢穴あり）を用いてその後積み直し。谷積あり。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

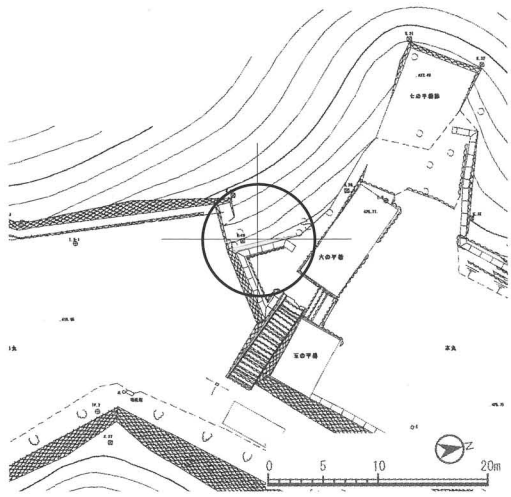
略図



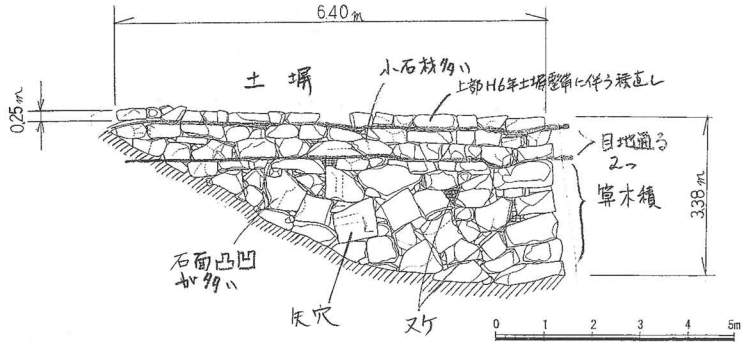
全景写真1

石垣番号	km_118	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 6.40		下端 7.70		
石垣高さ	左 0.25		右 3.38		
	最高 3.38		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

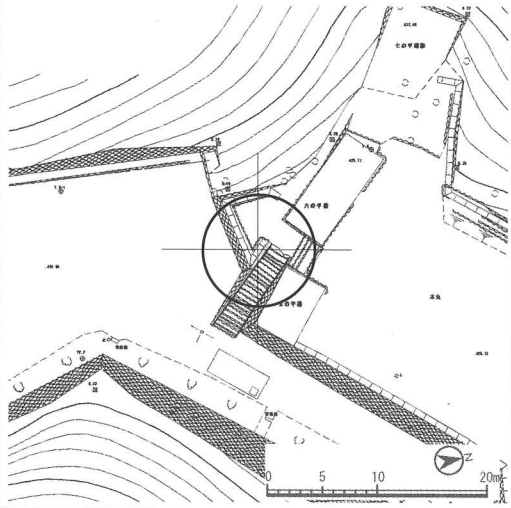


左変曲点

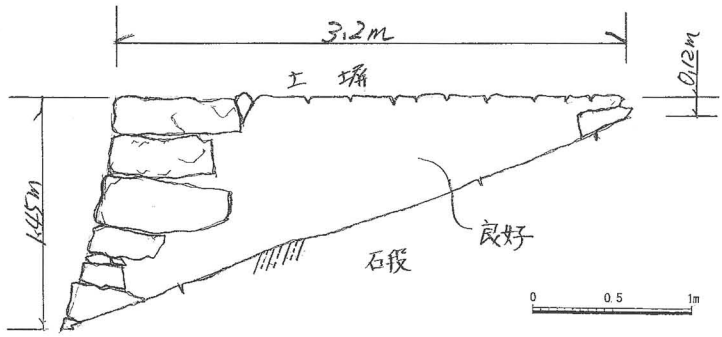
右変曲点

石垣番号	km_119	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.20		下端 3.80		
石垣高さ	左 1.45		右 0.12		
	最高 1.45		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	石垣				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

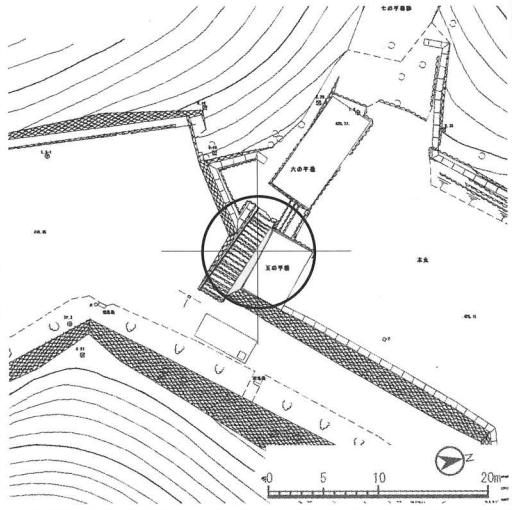


左変曲点

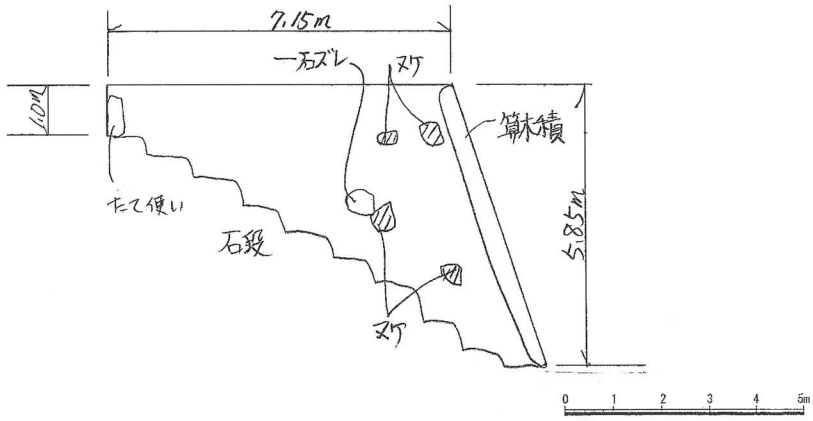
全景写真1

石垣番号	km_120	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.15		下端 9.15		
石垣高さ	左 1.00		右 5.85		
	最高 5.85		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	石段				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。間詰石のヌケあり。算木積（高）				

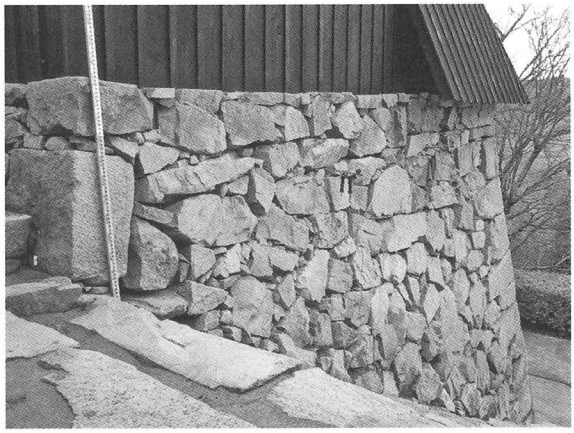
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



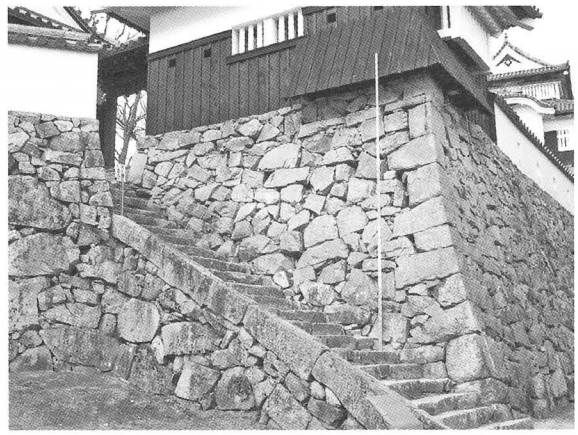
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



左変曲点

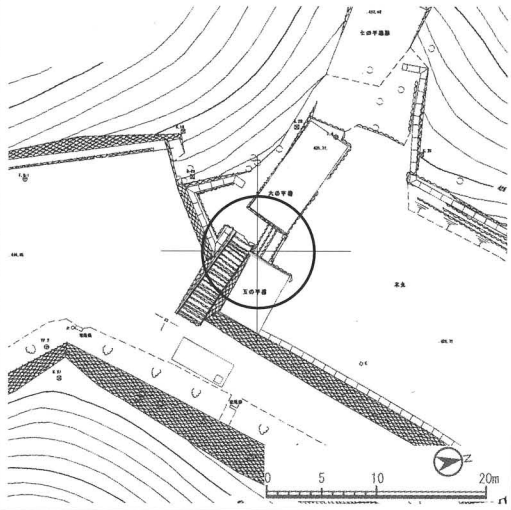


全景写真1

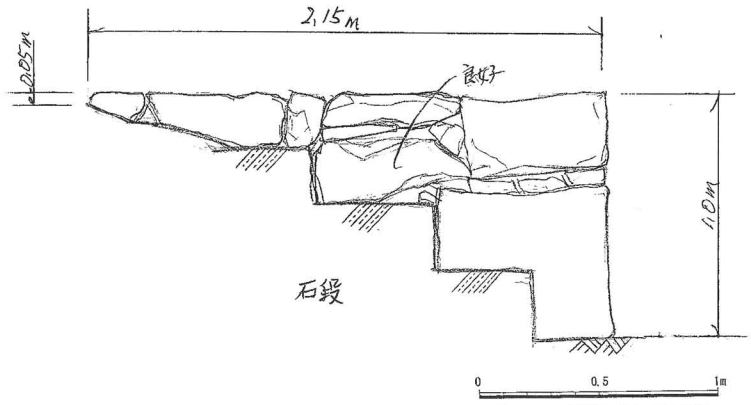


石垣番号	km_121	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.15		下端 2.40		
石垣高さ	左 0.05		右 1.00		
	最高 1.00		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	石垣				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



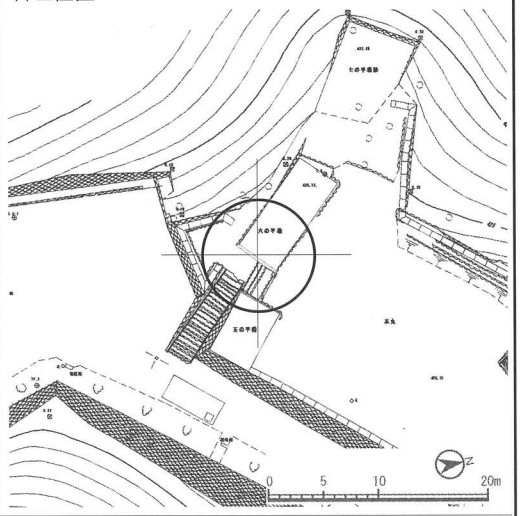
破損の要因と破損状況	略図



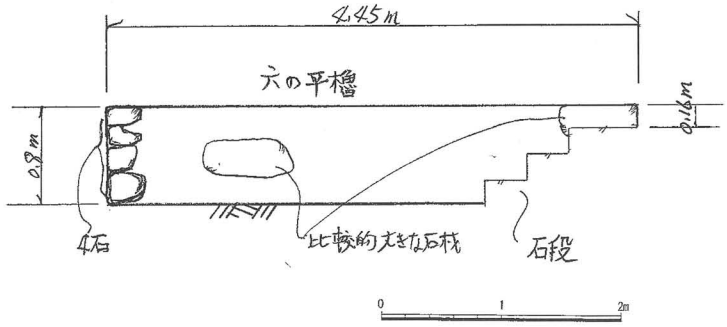
全景写真１

石垣番号	km_122	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.45		下端 4.50		
石垣高さ	左 0.80		右 0.16		
	最高 0.80		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.08		右 0.00		
	最高地点 0.08				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

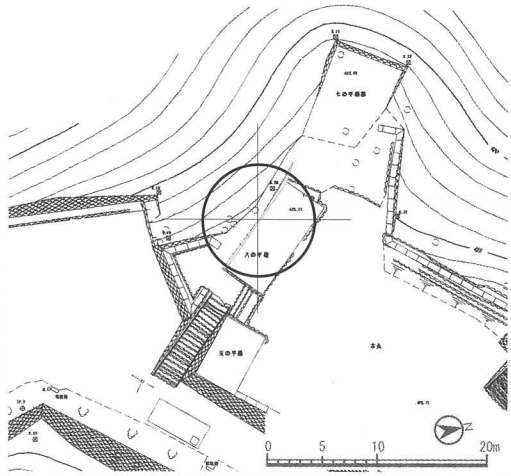


全景写真1

全景写真2

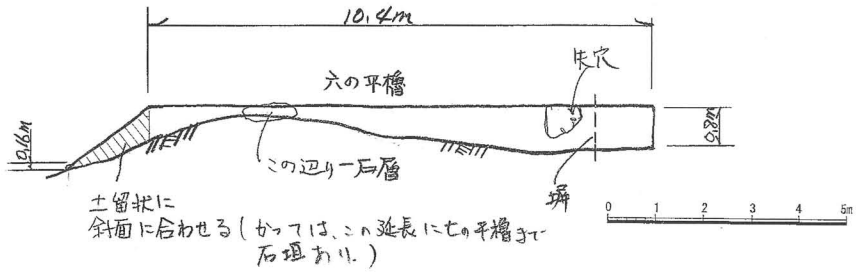
石垣番号	km_123	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	その他			
石垣延長	天端 10.40		下端 12.20		
石垣高さ	左 0.16		右 0.80		
	最高 1.22		最高点位置 左 1.60		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



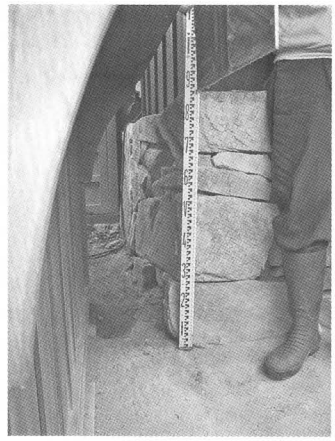
破損の要因と破損状況

略図



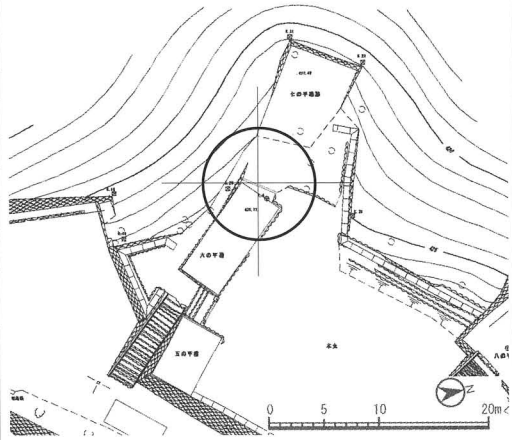
左変曲点

右変曲点



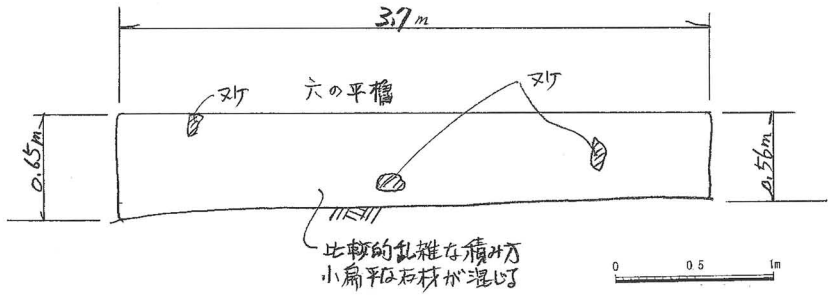
石垣番号	km_124	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.70		下端 3.70		
石垣高さ	左 0.65		右 0.56		
	最高 0.65		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

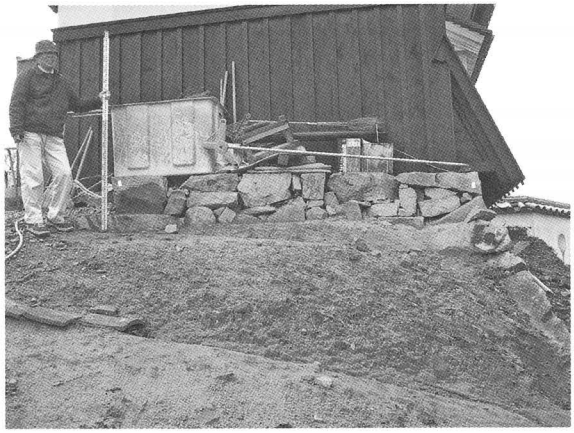


破損の要因と破損状況

略図

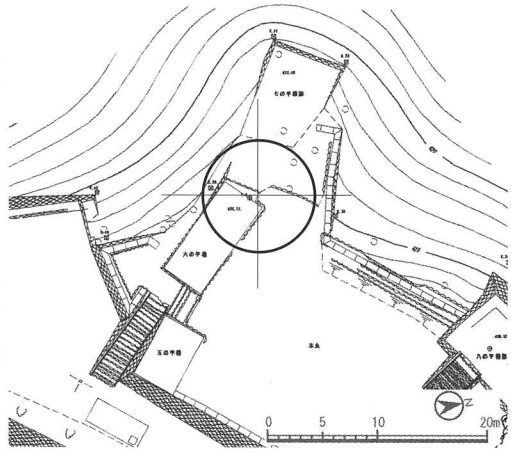


全景写真1

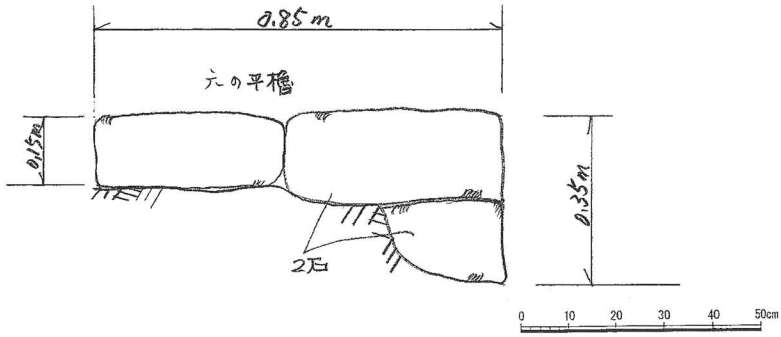


石垣番号	km_125	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 0.85		下端 0.85		
石垣高さ	左 0.15		右 0.35		
	最高 0.35		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	列石状				
石積工法	列石状				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



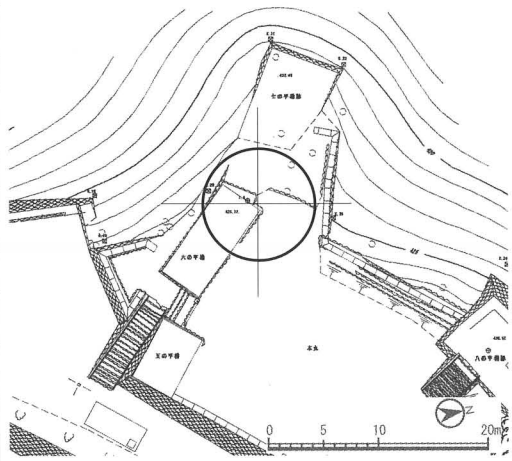
破損の要因と破損状況	略図



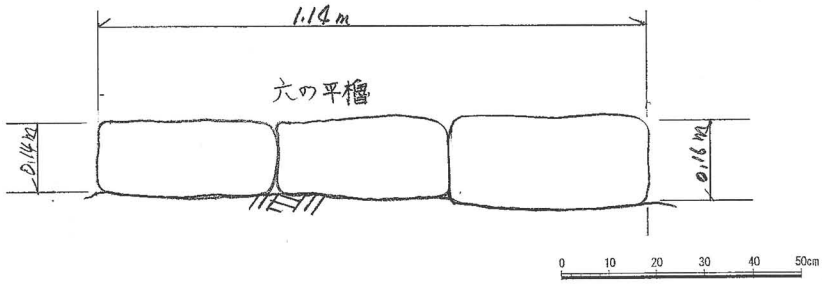
全景写真1

石垣番号	km_126	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.14		下端 1.14		
石垣高さ	左 0.14		右 0.16		
	最高 0.16		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	列石状				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	列石状となっているが下部は再普請の際に埋められる。				

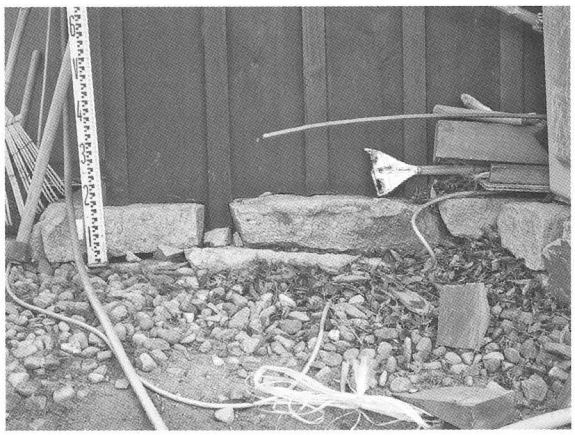
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

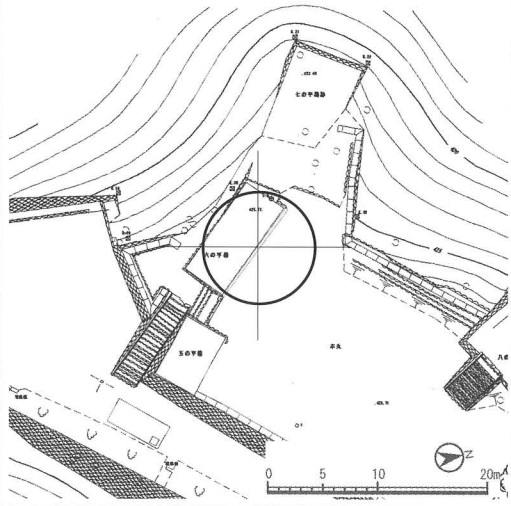


全景写真1

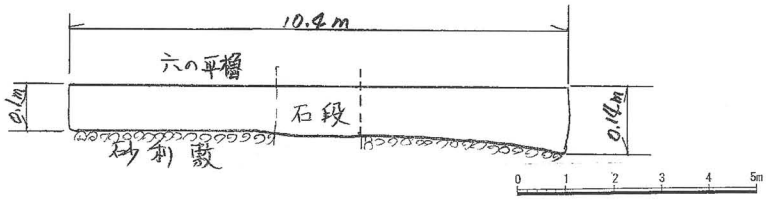


石垣番号	km_127	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.40		下端 10.40		
石垣高さ	左 0.10		右 0.14		
	最高 0.14	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	列石状				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	列石状となっているが下部は再普請の際に埋められる。				

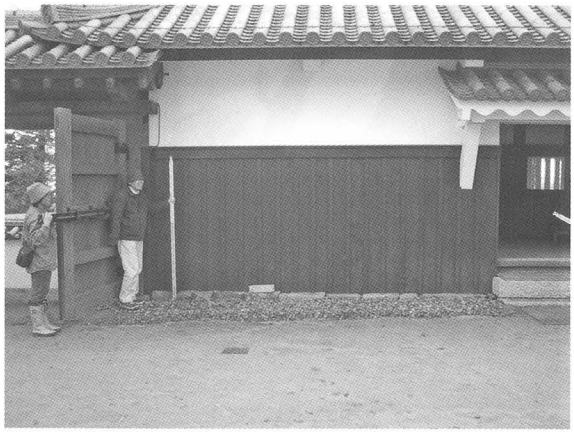
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図



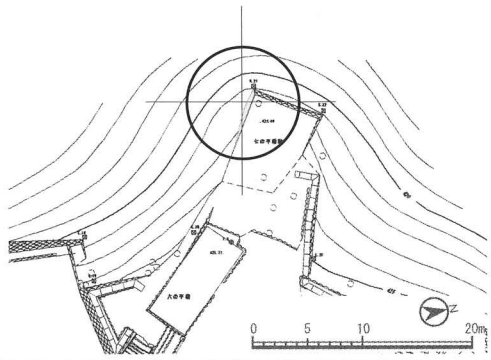
左変曲点



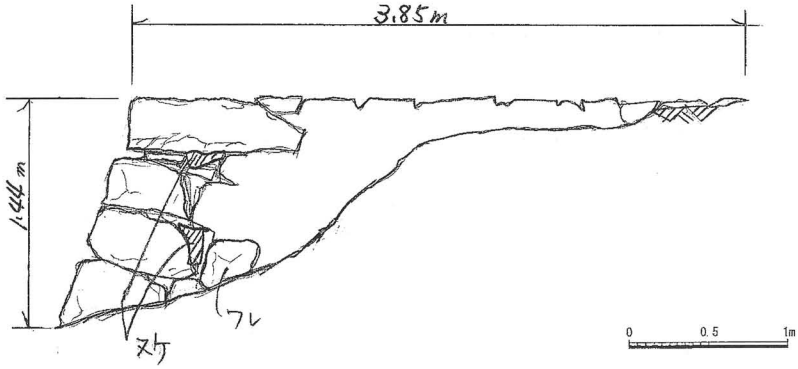
右変曲点

石垣番号	km_128	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け・地盤			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.85		下端 4.30		
石垣高さ	左 1.44		右 0.00		
	最高 1.44		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・割レ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	天端石の下に間詰石のヌケあり。				

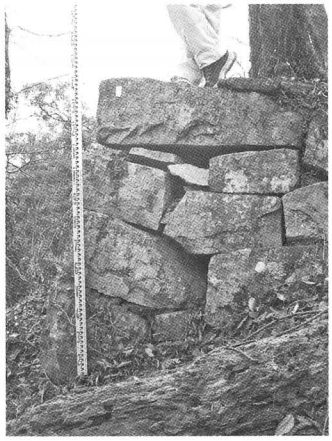
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ワレがみられる。	

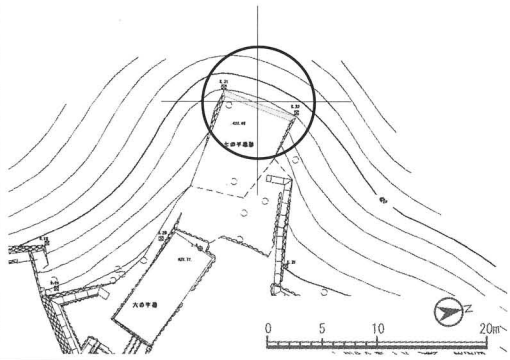


左変曲点

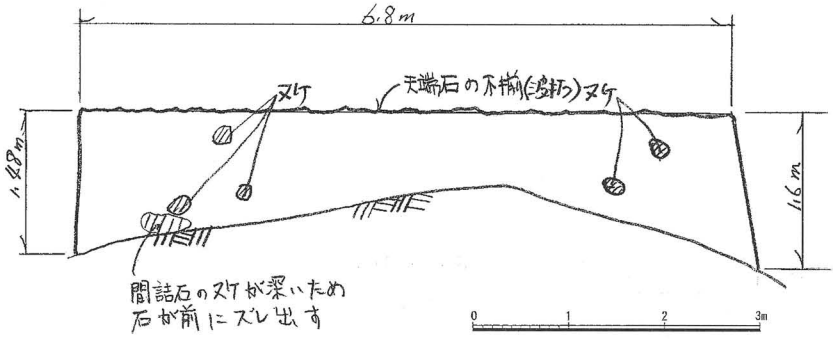


全景写真1

石垣番号	km_129	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.80		下端 7.10		
石垣高さ	左 1.48		右 1.60		
	最高 1.60		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.30		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・布積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的に積石にズレが見られる。間詰石のヌケがいくつか見られ、ヌケによって築石が前にずれ出しているものもある。				



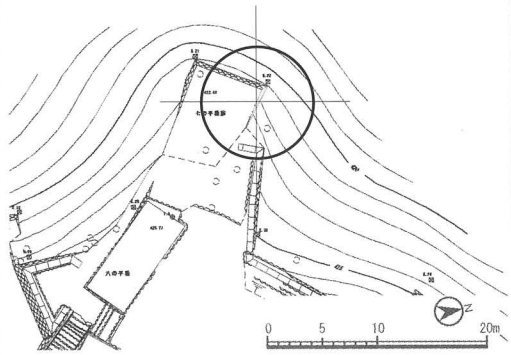
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



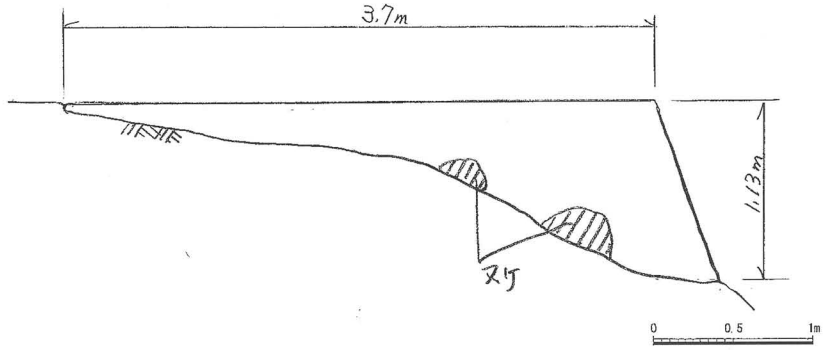
左変曲点

右変曲点

石垣番号	km_130	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・土			
石垣延長	天端 3.70		下端 4.10		
石垣高さ	左 0.00		右 1.13		
	最高 1.13		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	

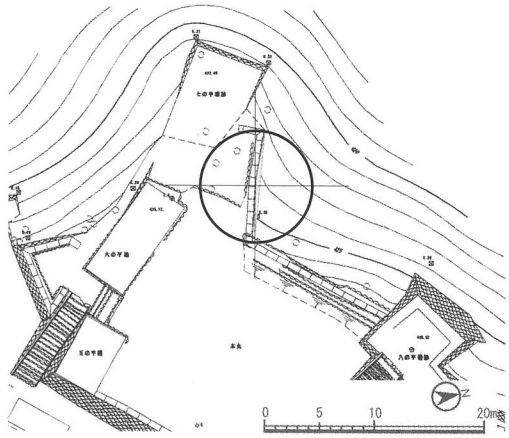


左変曲点

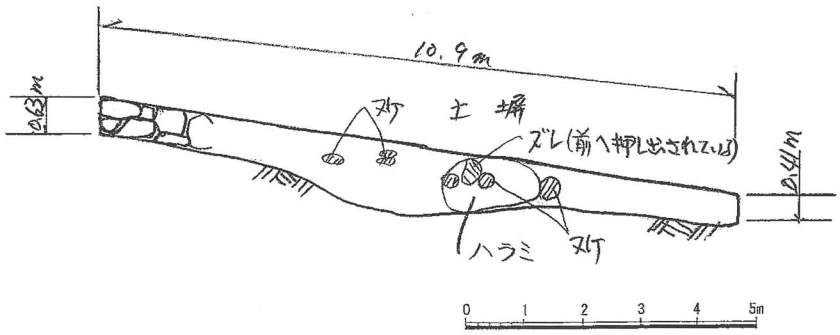
右変曲点

石垣番号	km_131	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・132は131につき当て			
石垣延長	天端 10.90		下端 10.95		
石垣高さ	左 0.63		右 0.41		
	最高 1.20		最高点位置 右 3.90		
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、ハラミがみられる。	

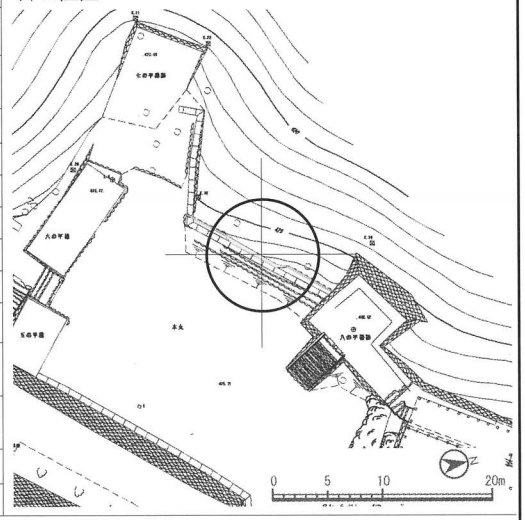


左変曲点

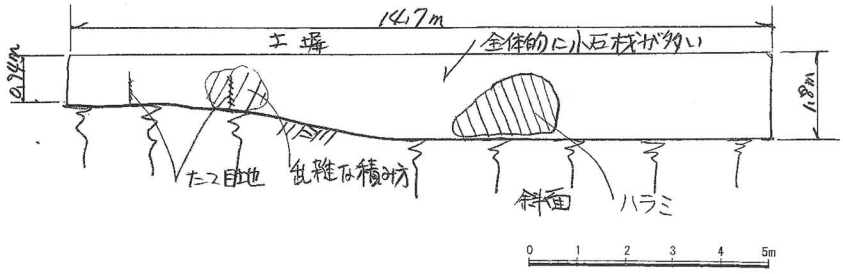
右変曲点

石垣番号	km_132	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け・131につきあて			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 14.70		下端 14.80		
石垣高さ	左 0.94		右 1.80		
	最高 1.80		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.12		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	全体に石材が小さい（30cm）。間詰め石と築石の区別がつきにくい。中央に鏡積。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	

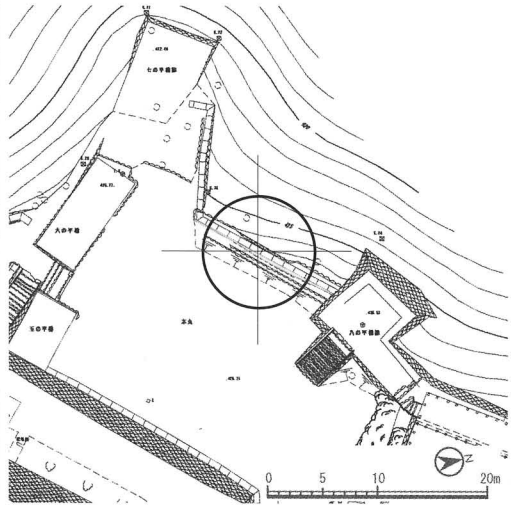


左変曲点

右変曲点

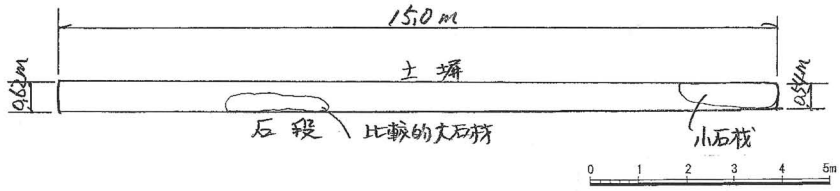
石垣番号	km_133	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 15.00		下端 15.00		
石垣高さ	左 0.62		右 0.54		
	最高 0.62		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	野面石が混じる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

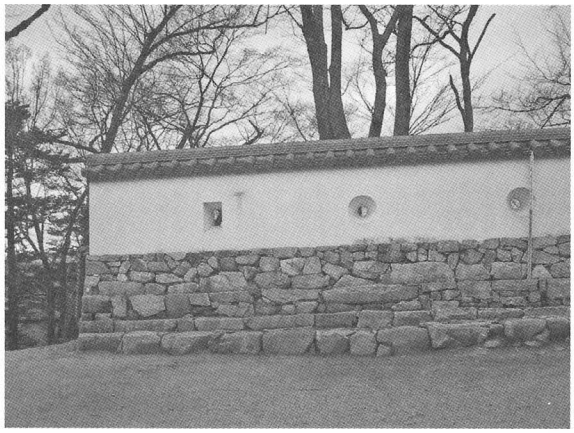


破損の要因と破損状況

略図



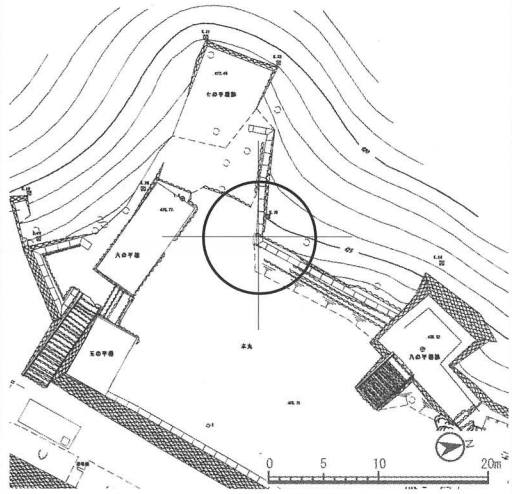
左変曲点



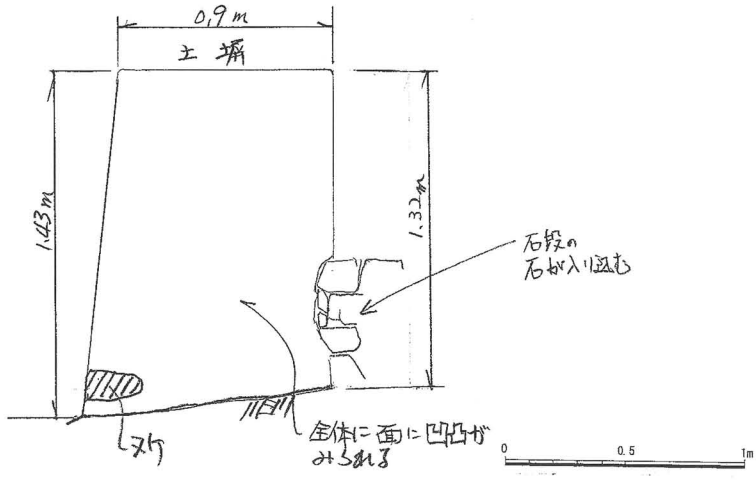
右変曲点

石垣番号	km_134	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸下の段
石垣部位	その他				
角の形状	右	石段			
	左	すり付け・土塀			
石垣延長	天端 0.90		下端 1.05		
石垣高さ	左 1.43		右 1.32		
	最高 1.43		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

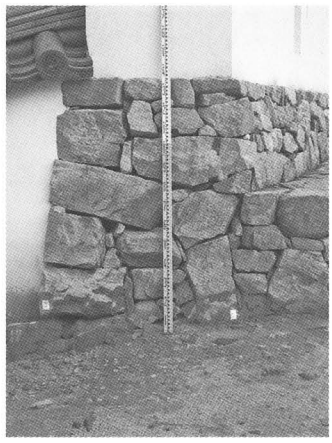
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	

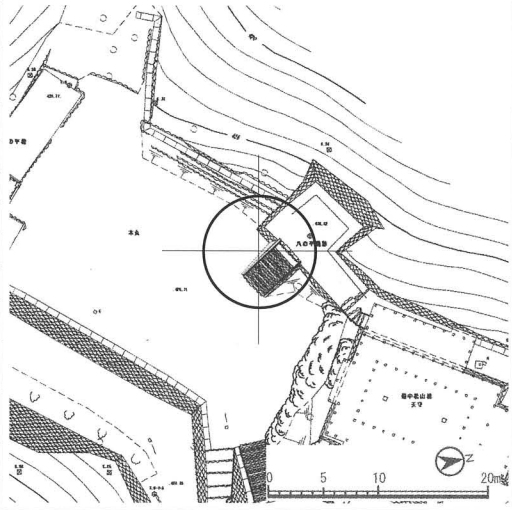


全景写真1

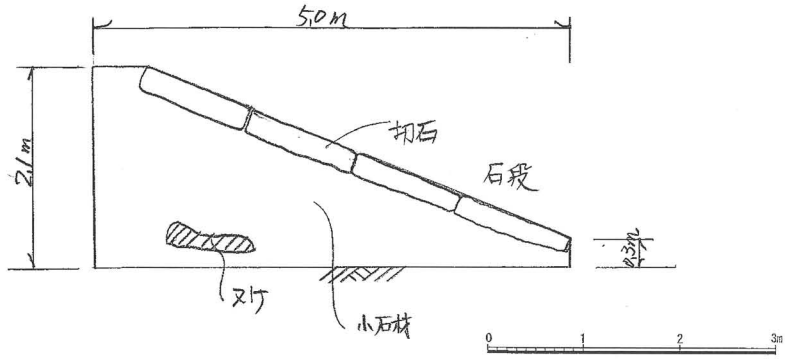


石垣番号	km_135	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.00		下端 4.10		
石垣高さ	左 2.10		右 0.30		
	最高 2.10		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	切石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



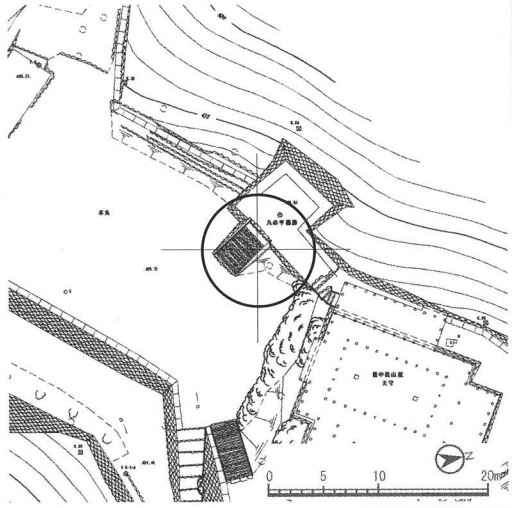
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	



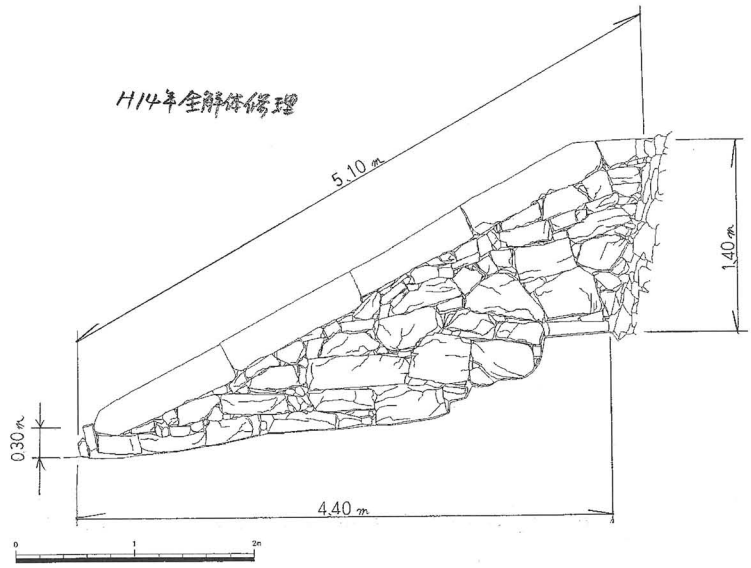
全景写真１

石垣番号	km_136	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 5.10		下端 4.40		
石垣高さ	左 0.30		右 1.40		
	最高 1.40		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	平成14年修理。				

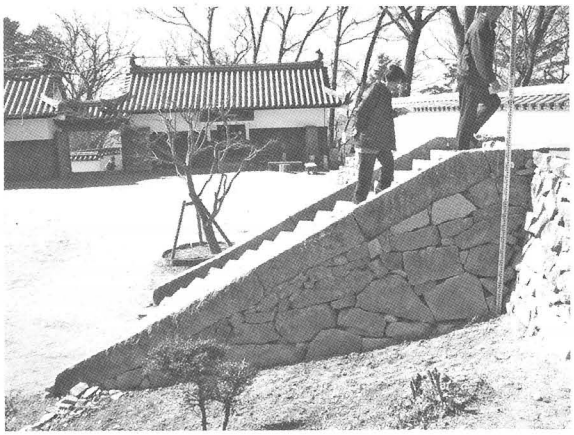
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

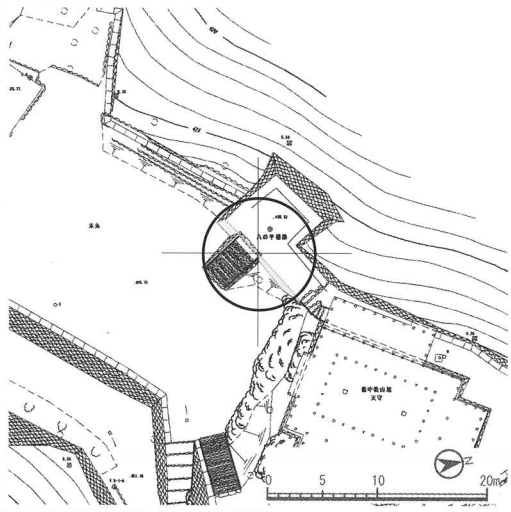


全景写真1



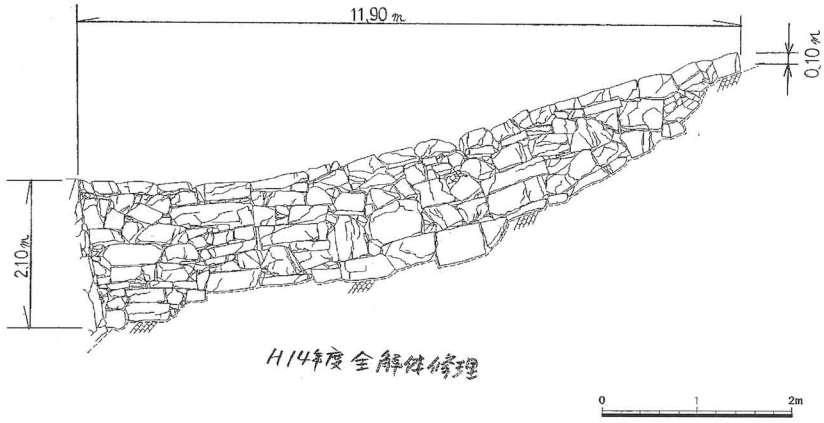
石垣番号	km_137	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 11.90		下端 9.60		
石垣高さ	左 2.10		右 0.10		
	最高 2.10		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.45		右 0.00		
	最高地点 0.45				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	平成14年修理。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

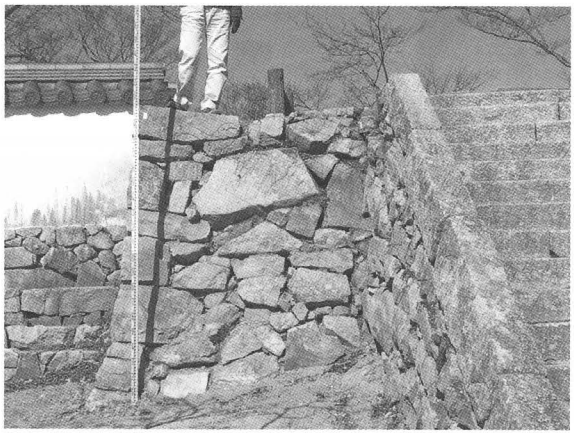


破損の要因と破損状況

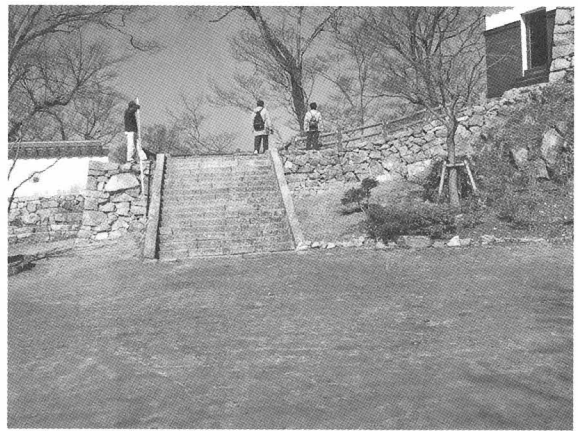
略図



左変曲点

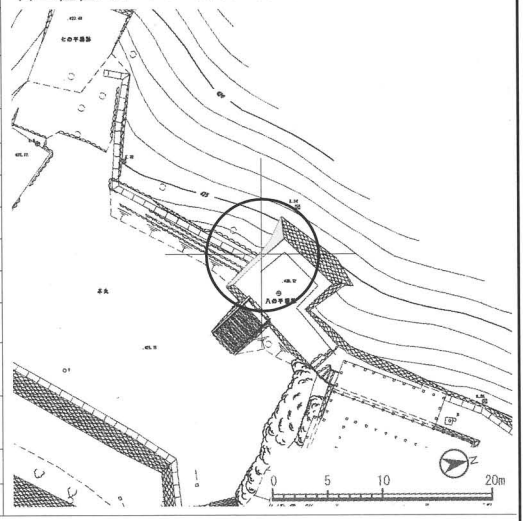


全景写真1

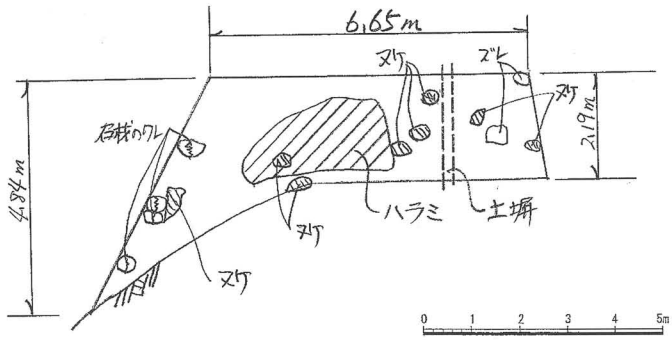


石垣番号	km_138	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.65		下端 9.40		
石垣高さ	左 4.84		右 2.19		
	最高 4.84		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.30		右 0.25		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面・平坦面				
石材種別	割石・野面石				
石積工法	打込ハギ・乱積・野面積・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・ズレ・割レ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左隅角にワレが目立つ。				

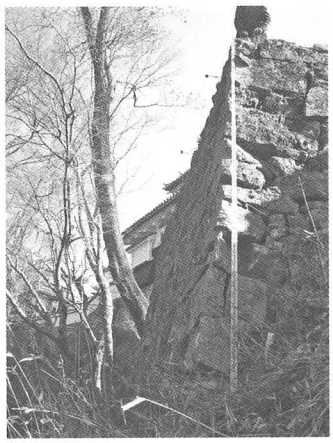
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、小ハラミ、ワレがみられる。	



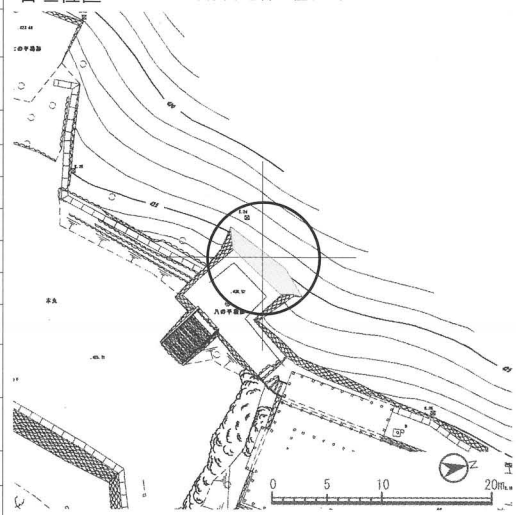
左変曲点



右変曲点

石垣番号	km_139	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.40		下端 6.93		
石垣高さ	左 5.29		右 4.60		
	最高 7.57		最高点位置 左 3.20		
石垣勾配	左 0.30		右 0.40		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面(急傾斜)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・割レ・ヌケ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	右隅角にワレが目立つ。右隅石と脇石間に目地状の隙間。				

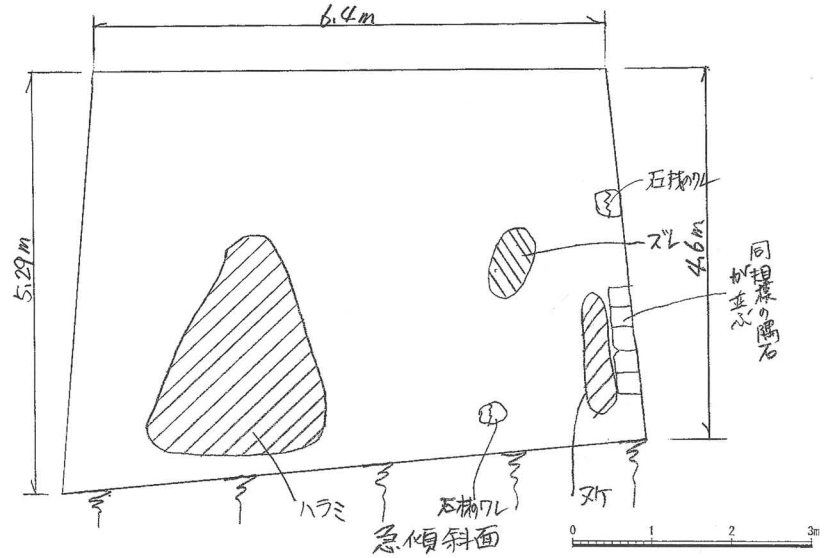
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、ハラミ、ワレがみられる。

略図

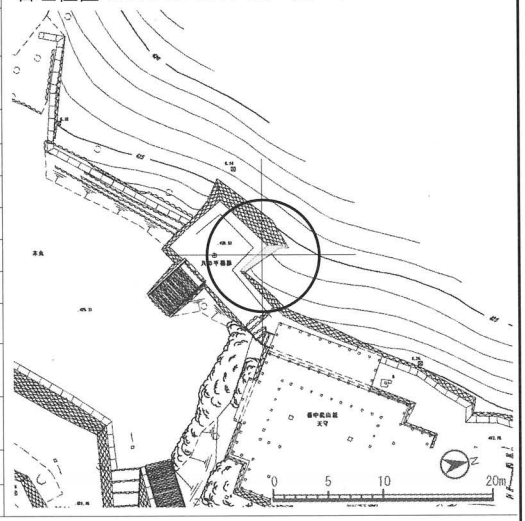


左変曲点

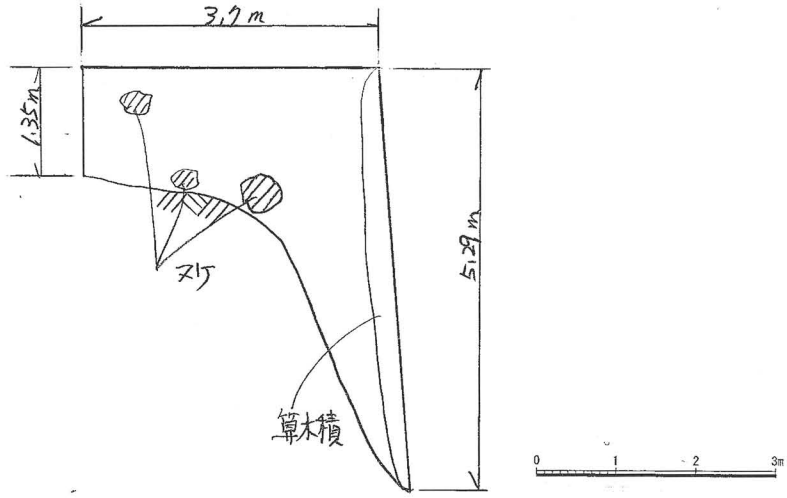
右変曲点

石垣番号	km_140	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.70		下端 4.10		
石垣高さ	左 1.35		右 5.29		
	最高 5.29		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.40		
	最高地点 0.40				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・割レ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



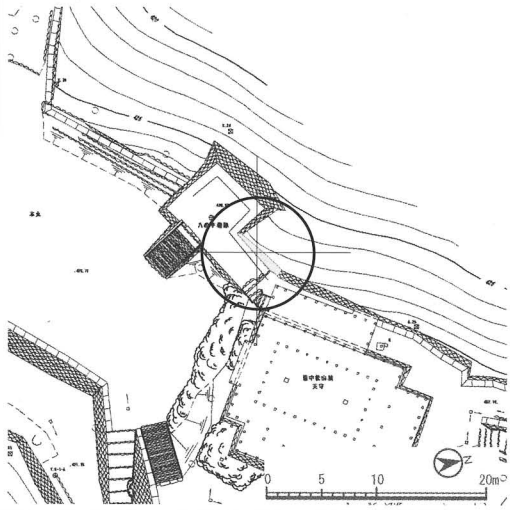
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、ワレがみられる。	



全景写真１

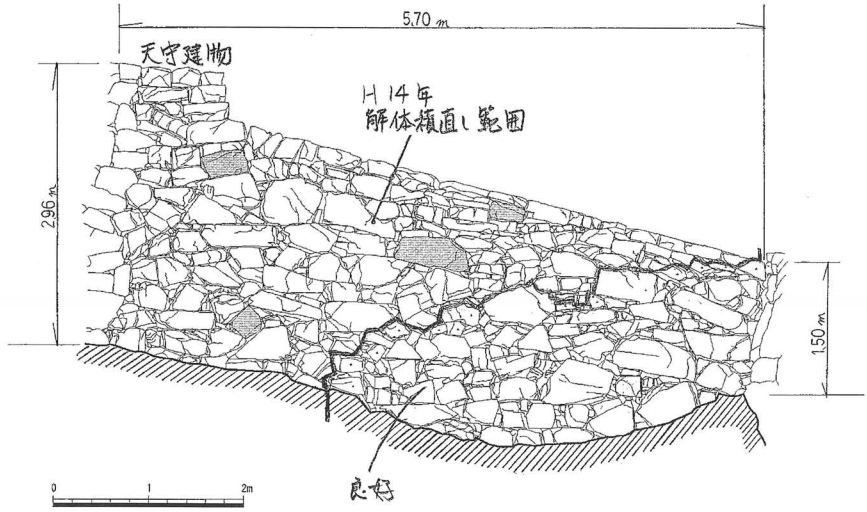
石垣番号	km_141	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角・つみなおし			
	左	入角・鈍角			
石垣延長	天端 5.70		下端 6.60		
石垣高さ	左 2.96		右 1.50		
	最高 2.96		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.22		右 0.20		
	最高地点 0.22				
地盤状況	平坦面・急斜面の犬走り上				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	前面の急斜面の崩落の危険性。コダン（犬走り）の安定化の必要あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

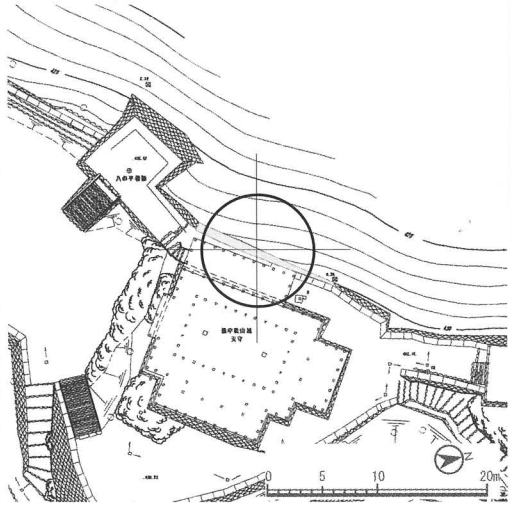
略図



全景写真1

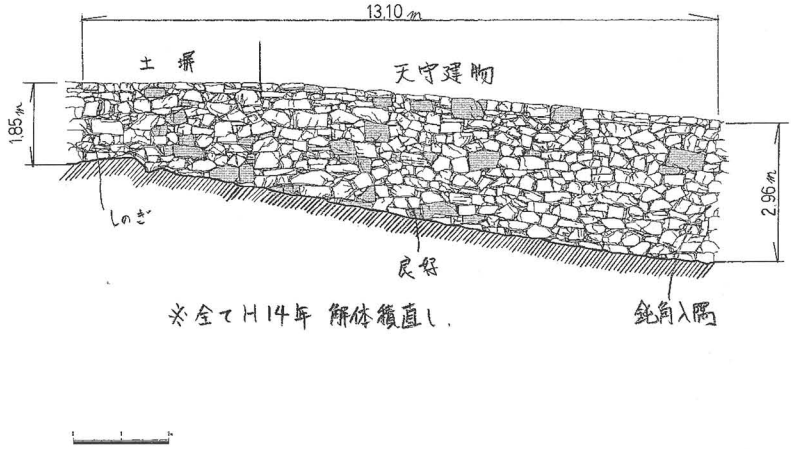
石垣番号	km_142	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角・鈍角			
	左	出角・しのぎ			
石垣延長	天端 13.10		下端 12.90		
石垣高さ	左 1.85		右 2.96		
	最高 2.96		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.22		
	最高地点 0.22				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	昭和15年、昭和32年、平成13年解体修理。前面の急斜面の崩落の危険性。コダン（犬走り）の安定化の必要あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

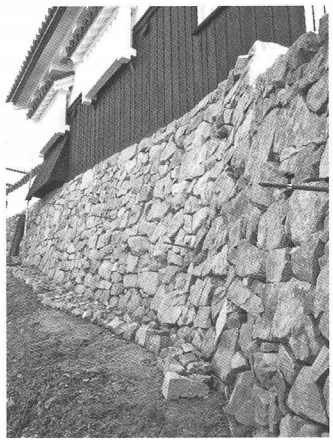


破損の要因と破損状況

略図



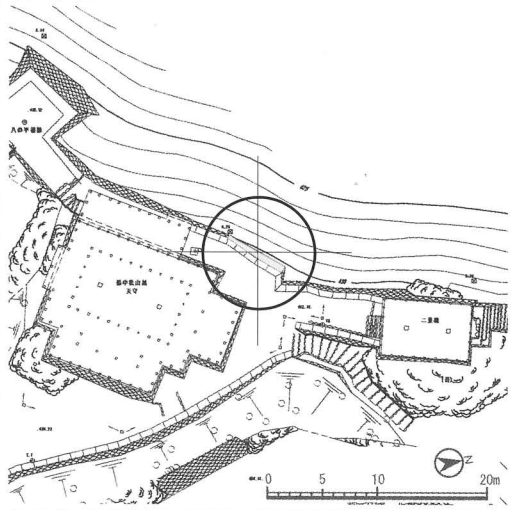
全景写真1



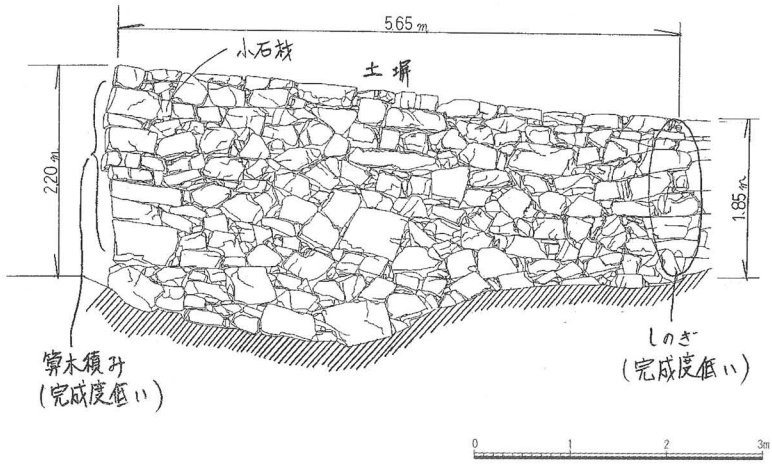
全景写真2

石垣番号	km_143	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角・シノギ			
	左	出角・やや鈍角			
石垣延長	天端 5.65		下端 5.70		
石垣高さ	左 2.20		右 1.85		
	最高 2.66		最高点位置 左 1.05		
石垣勾配	左 0.25		右 0.20		
	最高地点 0.25				
地盤状況	平坦面(犬走り上)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	前面の急斜面の崩落の危険性。コダン（犬走り）の安定化の必要あり。算木積（低）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

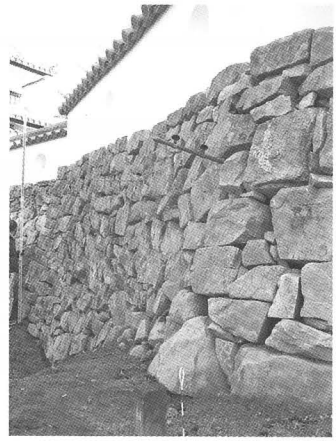


破損の要因と破損状況	略図



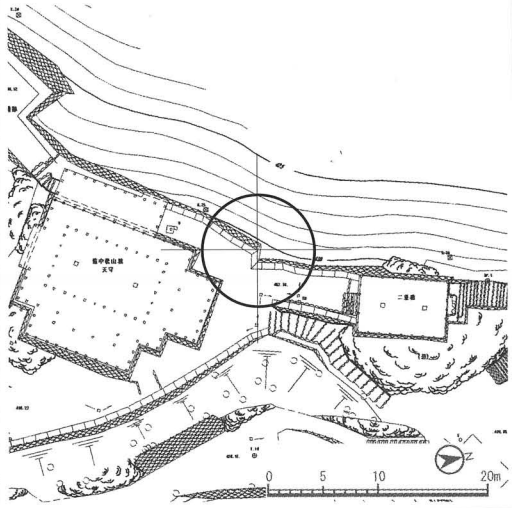
左変曲点

右変曲点

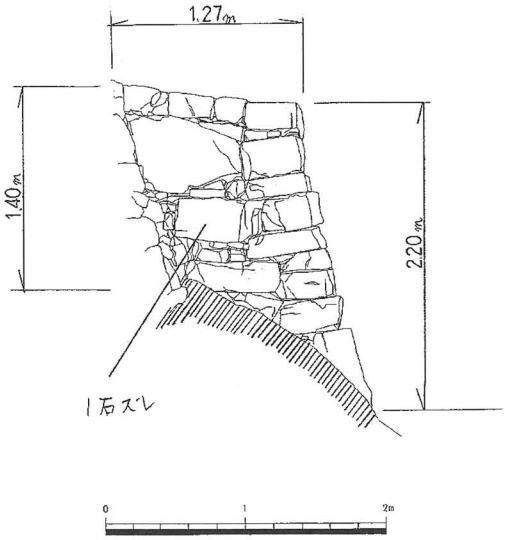


石垣番号	km_144	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.27		下端 1.42		
石垣高さ	左 1.40		右 2.20		
	最高 2.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面・その他				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項					

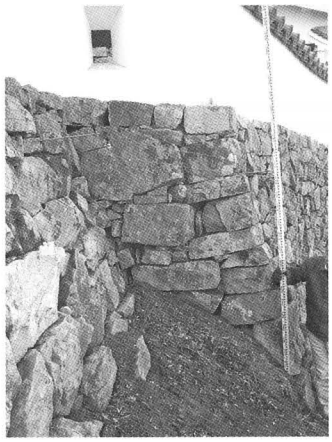
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	

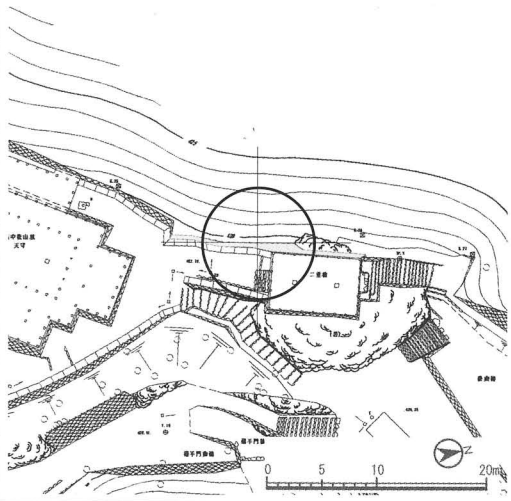


全景写真1



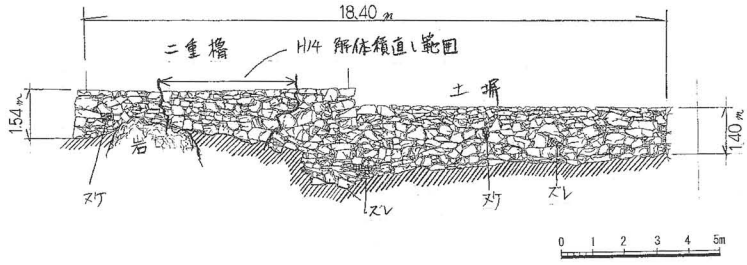
石垣番号	km_145	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 18.40		下端 18.50		
石垣高さ	左 1.54		右 1.40		
	最高 2.91		最高点位置 左 7.30		
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.40				
地盤状況	平坦面・岩(左)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

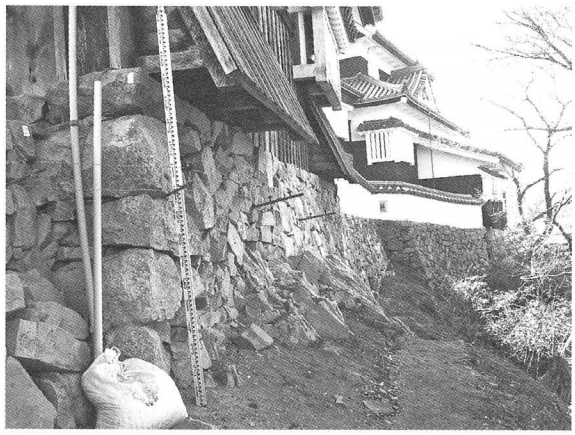


特記事項	昭和３年、昭和32年修理。平成14年二重櫓石垣解体修理。左の岩の右側は土留の為の土積様にする。その上に一段奥に引っ込めて積む。上の石ズレ落ちる。

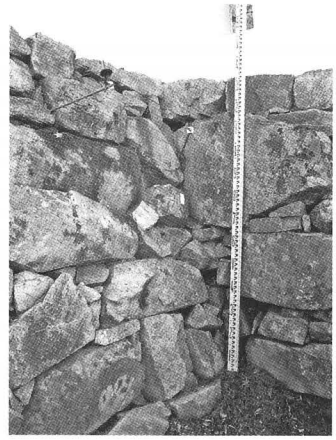
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



左変曲点

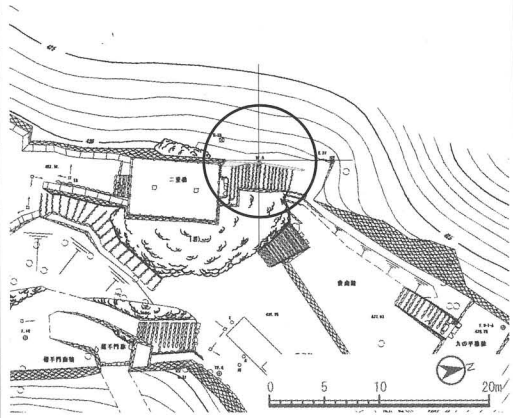


右変曲点

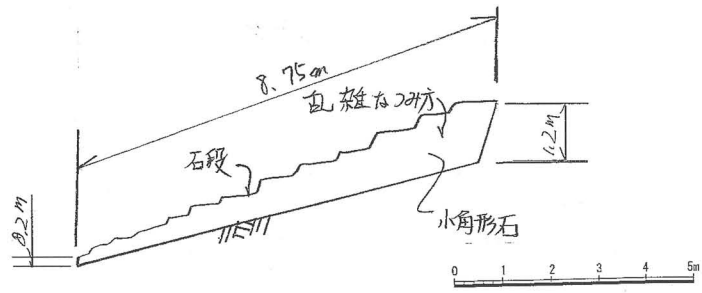


石垣番号	km_146	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け・土			
	左	すり付け・土			
石垣延長	天端 8.75		下端 8.40		
石垣高さ	左 0.20		右 1.20		
	最高 1.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	不安定な積み方				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石多い。杜撰な積み方。モルタル詰め。				

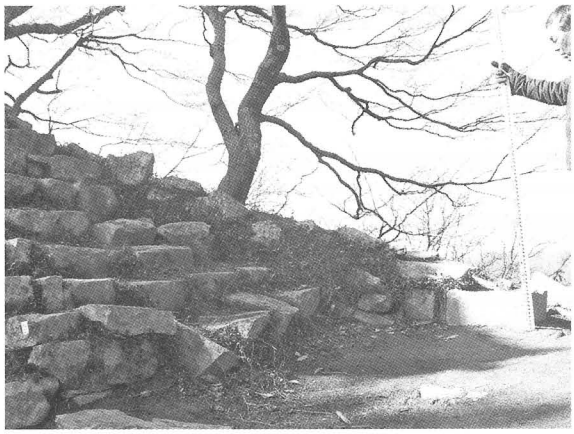
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



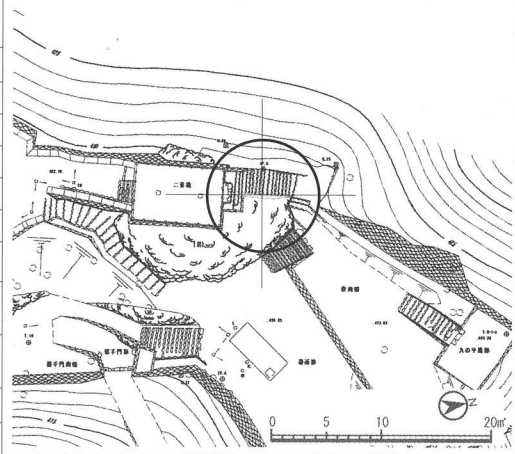
左変曲点



右変曲点

石垣番号	km_147	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け・土			
	左	すり付け・その他			
石垣延長	天端 5.70		下端 5.45		
石垣高さ	左 0.65		右 0.25		
	最高 0.90		最高点位置 左 2.30		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	露岩上に築造。				

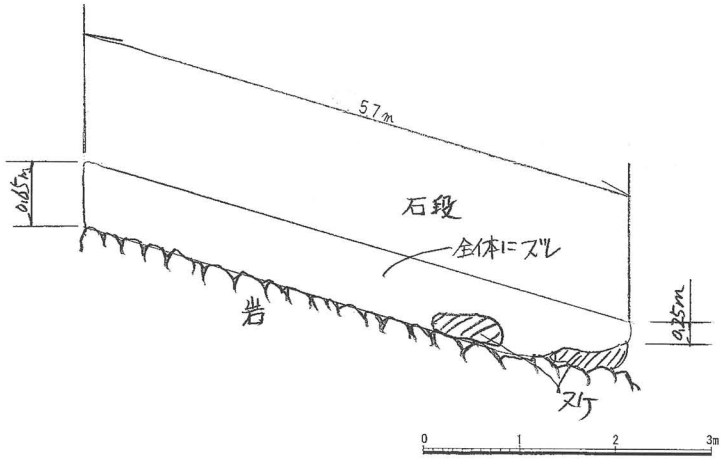
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ヌケがみられる。

略図

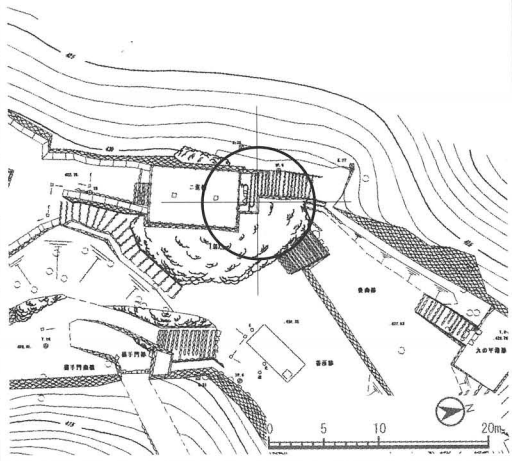


全景写真1

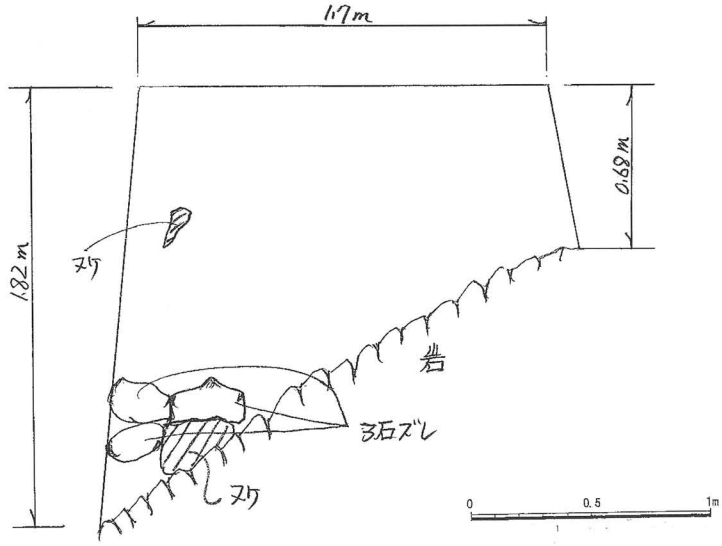
全景写真2

石垣番号	km_148	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.70		下端 1.90		
石垣高さ	左 1.82		右 0.68		
	最高 1.82		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	非常に不安定な露岩上に築造。岩と石積が馴染んでいない。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



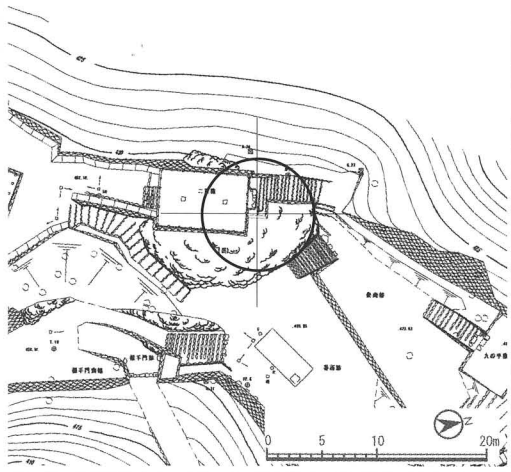
破損の要因と破損状況	略図
・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



全景写真1

石垣番号	km_149	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.65		下端 1.80		
石垣高さ	左 1.60		右 1.82		
	最高 1.82		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	非常に不安定な露岩上に築造。岩と石積が馴染んでいない。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

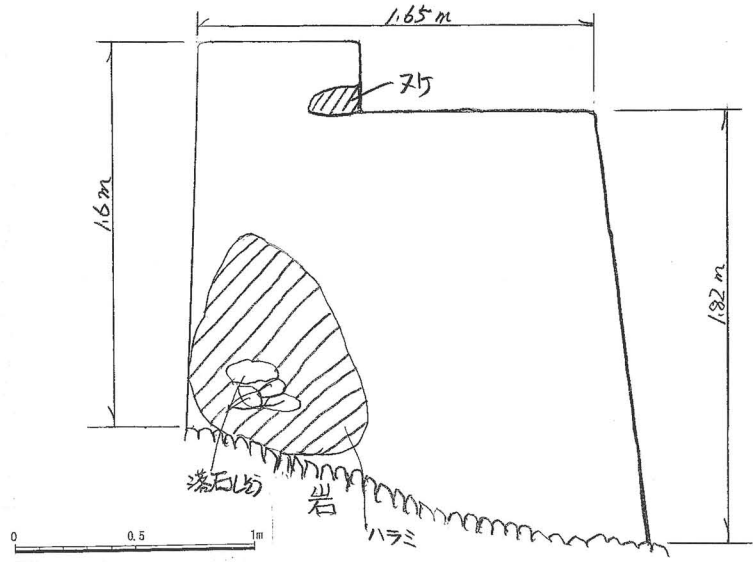


破損の要因と破損状況

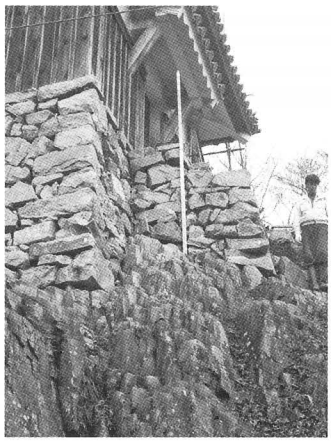
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。

・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ハラミがみられる。

略図

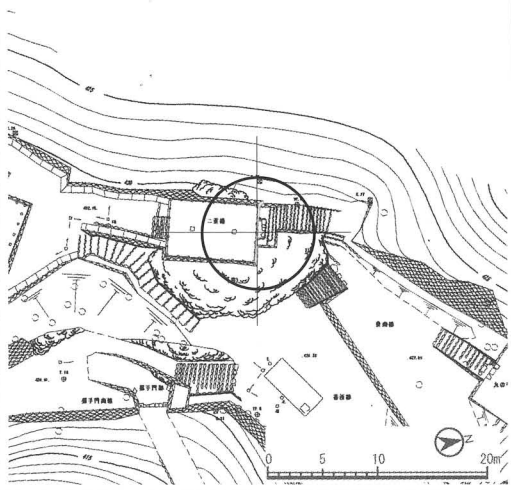


全景写真1



石垣番号	km_150	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.55		下端 6.40		
石垣高さ	左 3.15		右 1.50		
	最高 3.15		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.12		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	割レ・ズレ(天端石)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	露岩上に築造。				

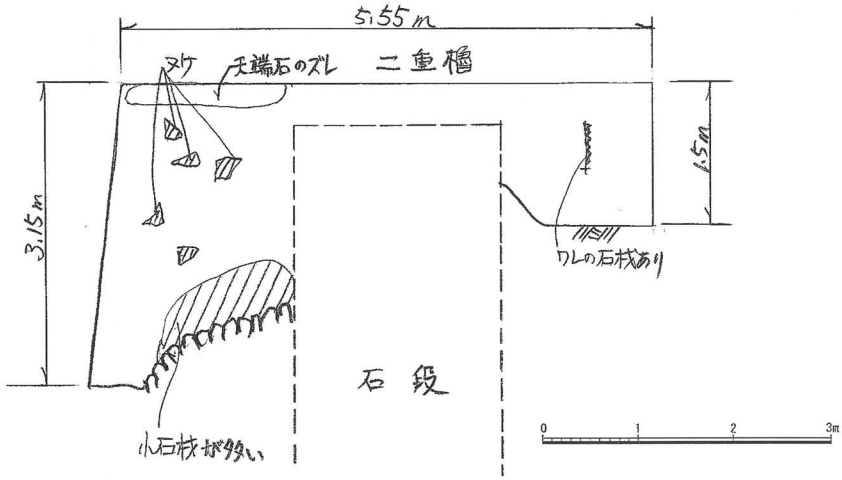
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、ワレがみられる。

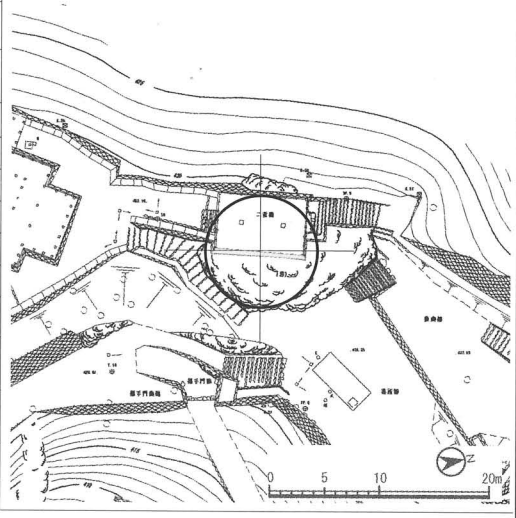
略図



全景写真1

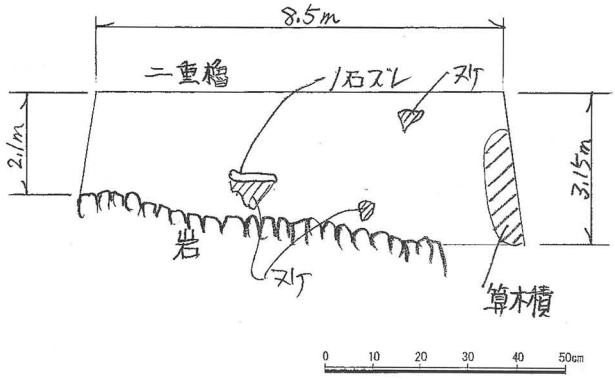
石垣番号	km_151	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.50		下端 9.20		
石垣高さ	左 2.10		右 3.15		
	最高 3.15		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	岩上に比較的小さめの石を多用するため馴染みが少ない。定期的な監視必要。間詰石のヌケあり。算木積（高）。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

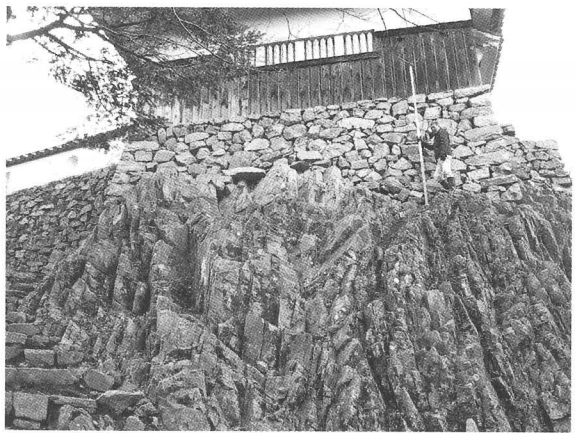


破損の要因と破損状況

略図

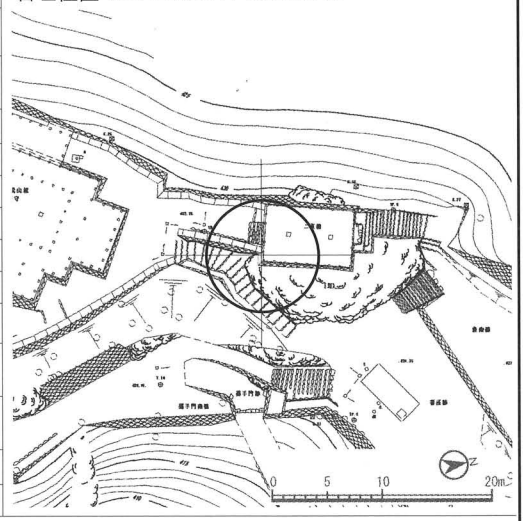


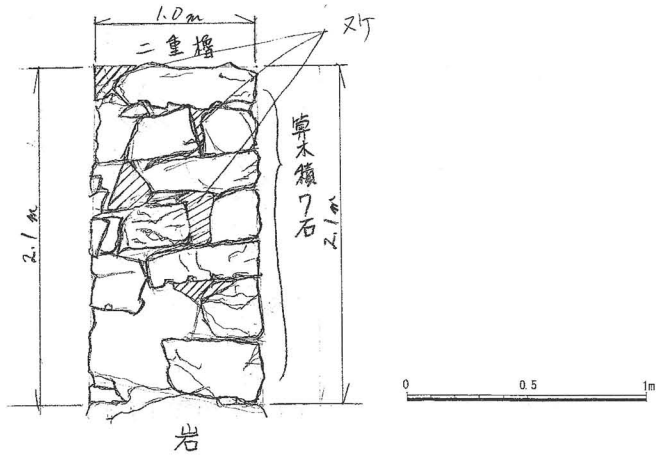
全景写真1



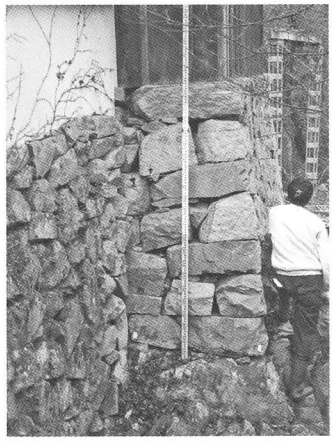
石垣番号	km_152	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.00		下端 1.10		
石垣高さ	左 2.10		右 2.10		
	最高 2.10		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.12		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。間詰石のヌケあり。算木積（高）。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



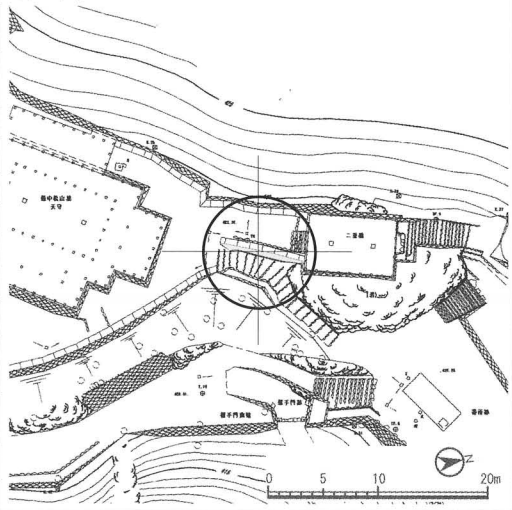
破損の要因と破損状況	略図
	

全景写真１

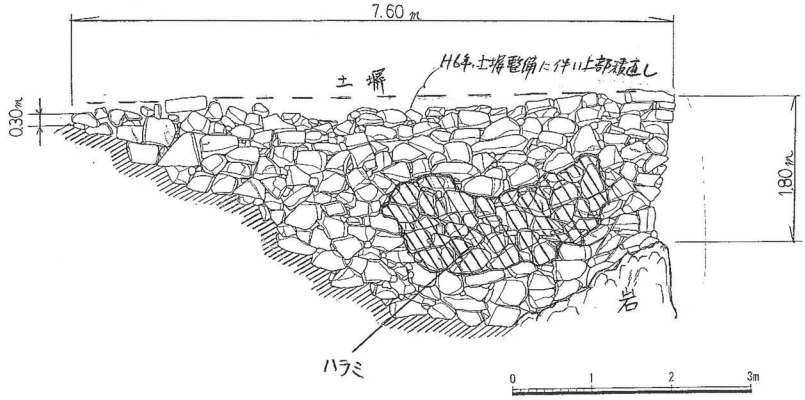


石垣番号	km_153	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け・土			
	左	入角			
石垣延長	天端 7.60		下端 8.30		
石垣高さ	左 0.40		右 1.80		
	最高 2.92		最高点位置 右 1.50		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。露岩上に築造。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

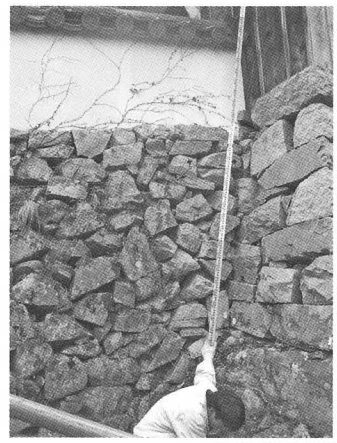


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



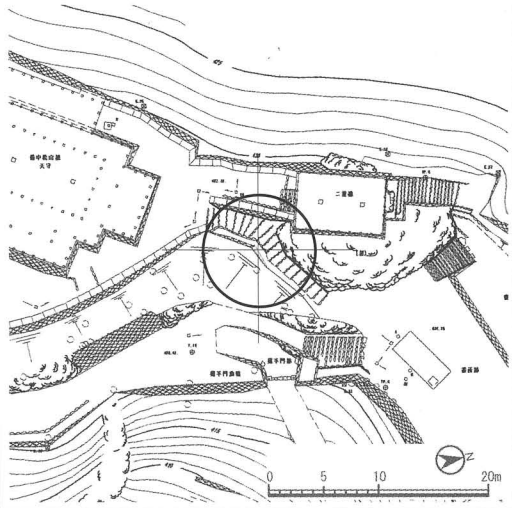
左変曲点

右変曲点

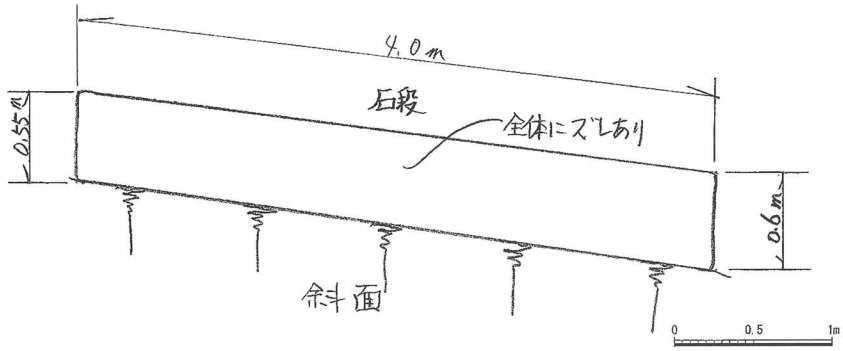


石垣番号	km_154	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 4.00		下端 4.00		
石垣高さ	左 0.55		右 0.60		
	最高 0.60		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	破損軽微。				

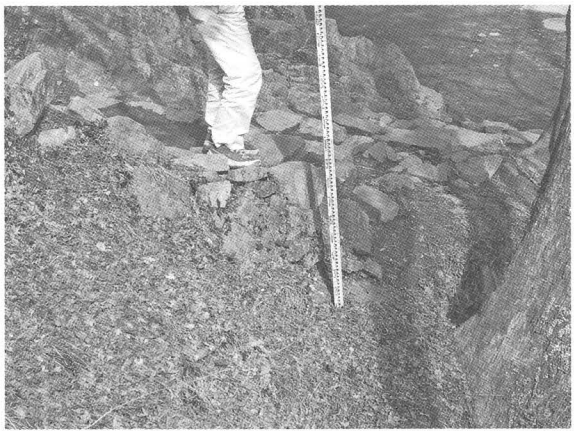
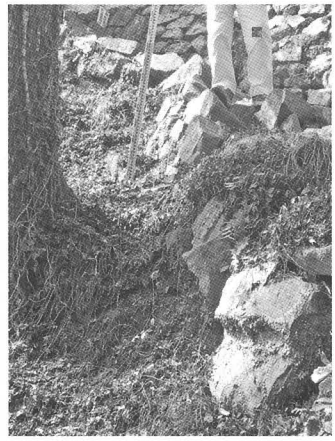
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



全景写真1



全景写真2